

令和6年度「若者のライフデザインや出会いに関する意識調査」

ウェブアンケート調査 最終報告サマリ

令和6年 11月

調査手法	▸ Web調査
調査エリア	▸ 全国
調査対象者	▸ 15～39歳の未婚/既婚の男女一般生活者
サンプル数・割付	▸ スクリーニング調査：10,000ss（人口構成比に準じて回収） ▸ 本調査：20,000ss回収（未婚の男女 18,000ss/既婚の男女 2,000ss） ※ 既婚者は30代以下の5年以内に結婚した人を対象とした。（出現率の低い層では一部5年以上も対象） ※ 未婚者は、性別と年代（ 15-19歳、20-29歳、30-39歳）とエリア（①北海道、②東北、③関東、④北陸⑤中部、⑥関西、⑦中国、⑧四国、⑨九州沖縄）の54セルで回収。 ※ 割り付けの詳細は4-5頁参照
設問数	▸ 全77問（スクリーニング 10問 / 本調査 67問）
調査時期	▸ 2024年7月8日～7月17日 スクリーニング 2024年7月8日～16日 本調査 2024年7月12日～17日

※既婚者は30代以下の5年以内に結婚した人を対象とした。

1. 生活の満足度や自身について、既婚者は「自分には居場所があると思う」、「自分自身に満足している」と回答した割合が未婚者より高い。「自分自身に満足している」にあてはまると回答した未婚者は、あてはまらないと回答した未婚者よりも結婚意向が高い。

- 生活の満足度や自身について、「自分には居場所があると思う」と回答している既婚者が78.3%に対し、未婚者は66.6%が回答している。(Q22)
- また、「自分自身に満足している」と回答している既婚者が52.8%に対し、未婚者は42.4%が回答している。(Q22)
- 「自分はうまくいかわからないことにも意欲的に取り組む」にあてはまると回答した未婚者の結婚意向は72.7%なのに対し、あてはまらなと回答した未婚者の結婚意向は55.4%で約17ptの差がある。また、「自分自身に満足している」にあてはまると回答した未婚者の結婚意向は71.3%なのに対し、あてはまらなと回答した未婚者の結婚意向は58.2%で約13ptの差がある。(SQ3,Q22)

Q22.あなたの普段の生活の満足感やご自身について、あてはまるものをお答えください。(各1つずつ)

		自分自身に満足している						自分には「居場所」があると思う					
		(%)						(%)					
n=30の場合(全体のみ)		▼選択						▼選択					
		+10ポイント +5ポイント -5ポイント -10ポイント						+10ポイント +5ポイント -5ポイント -10ポイント					
		TOP2						TOP2					
		BOTTO M2						BOTTO M2					
全体		(20,000)						(20,000)					
		12.9 33.0 34.1 20.0 45.9 54.1						27.6 43.0 21.2 8.2 70.6 29.4					
既婚者計		(2,000)						(2,000)					
		14.1 38.6 34.7 12.5 52.8 47.2						33.5 44.8 16.8 5.0 78.3 21.7					
未婚者計		(18,000)						(18,000)					
		12.3 30.2 33.7 23.8 42.4 57.6						24.5 42.1 23.5 9.9 66.6 33.4					
結婚年齢の最頻値±3歳													
既婚23～30歳		(1,089)						(1,089)					
		16.3 37.9 35.2 10.7 54.1 45.9						36.4 45.2 14.2 8.2 81.6 18.4					
未婚23～30歳		(6,434)						(6,434)					
		10.9 29.6 35.0 24.5 40.5 59.5						21.5 42.8 25.0 10.7 64.3 35.7					

		(%)											
		TOP2										BOTTOM2	
n=30の場合(未婚者計より)		▼選択											
		+10ポイント +5ポイント -5ポイント -10ポイント											
		結婚はしたい 結婚はできればしたくない 法律婚ではなく、事実婚などを考えてみたい わからない											
未婚者計		(18,000)											
		32.4 31.4 5.6 14.4 2.6 13.7 63.8 19.9											
自分自身に満足している		(7,223)											
		40.5 30.8 4.5 11.1 2.2 10.9 71.3 15.6											
自分自身がうまくいかわからないことにも意欲的に取り組む		(8,322)											
		40.5 32.2 4.5 9.4 2.5 10.9 72.7 13.9											
あてはまる(そう思う) 計一覧													
自分には役に立たないと感じる		(10,170)											
		27.6 31.8 6.4 16.9 2.7 14.6 59.5 23.3											
自分自身はありのまま、素直に生きていると思う		(11,517)											
		35.4 32.1 4.9 12.7 2.5 12.4 67.5 17.6											
自分には「居場所」があると思う		(11,671)											
		36.3 32.8 5.1 11.1 2.3 12.4 69.1 16.2											
今の生活は心身ともに良好だと思う		(9,265)											
		38.1 32.5 4.7 10.5 2.3 11.9 70.6 15.2											
自分自身に満足している													
自分自身がうまくいかわからないことにも意欲的に取り組む													
あてはまる(そう思う) 計一覧													
自分には役に立たないと感じる		(9,678)											
		24.8 30.6 6.6 19.0 2.7 16.4 69.2 15.8											
自分自身はありのまま、素直に生きていると思う		(7,830)											
		38.3 30.9 4.5 11.2 2.5 12.6 69.2 15.8											
自分には「居場所」があると思う		(6,483)											
		26.7 30.2 6.7 17.5 2.8 16.1 56.9 24.2											
今の生活は心身ともに良好だと思う		(6,329)											
		24.4 28.7 6.4 20.9 3.2 16.4 53.1 27.3											
今の生活は心身ともに良好だと思う		(8,735)											
		25.6 30.2 6.6 18.8 2.9 15.9 55.8 25.4											

※クロス分析の視点：生活の満足度と自身の評価 (Q22S1-S6で1,2)：上段/ (Q22S1-S6で3,4)：下段

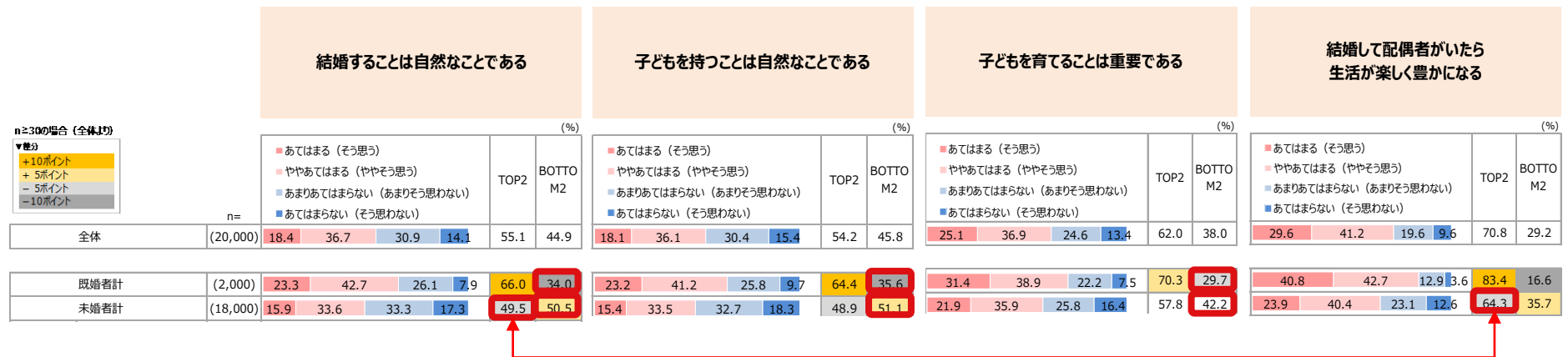
【基数：未婚者】

2. 「結婚・子どもを持つことは自然なことである」と回答している未婚者は約5割で、既婚者の約7割よりも低い。 未婚男女ともに、「結婚することは自然なこと」より「配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる」と回答している割合が高い。

- 結婚や子どもについての気持ち・考えについて、「結婚することは自然なことである」について、未婚者の50.5%があてはまらないと回答し、既婚者(34.0%)よりも約17pt高い。また「子どもを持つことは自然なことである」については、未婚者の51.1%があてはまらないと回答し、既婚者(35.6%)よりも約16pt高い。(Q26)
- また、「結婚することは重要である」について、未婚者の56.3%があてはまらないと回答し、既婚者(38.7%)よりも高い。「子どもを育てることは重要である」について、未婚者の42.2%があてはまらないと回答し、既婚者(29.7%)よりも高い。(Q26)
- 「結婚して配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる」について、未婚者の64.3%があてはまると回答し、「結婚することは自然なこと(49.5%)」よりも高い。(Q26)

Q26.結婚や子どもを持つこと、生活の満足度やご自身のことについて、下記の事項はあなたにどの程度あてはまりますか。それぞれの項目について、お答えください。(各1つずつ)

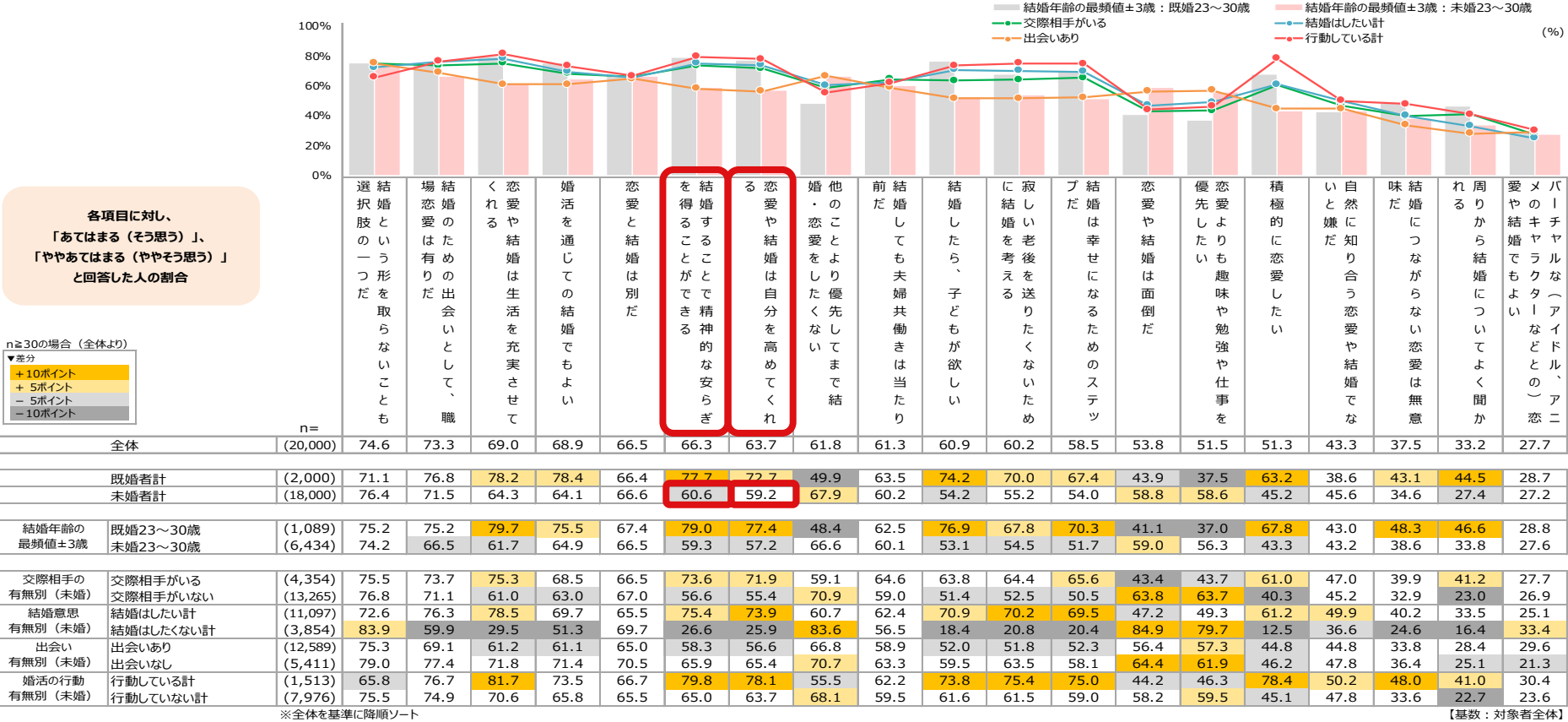
※すでに配偶者がいらっしゃる方は、現在ではなく、結婚する前にどのように思っていたかをお答えください。



1. 未婚者の約6割が、「結婚することで精神的な安らぎを得ることができる」、「恋愛や結婚は自分を高めてくれる」といった点で、恋愛や結婚に対する利点を感じている。

➤ 恋愛や結婚に対する意識や考えについて、未婚者の60.6%が「結婚することで精神的な安らぎを得ることができる」、59.2%が「恋愛や結婚は自分を高めてくれる」、64.3%が「恋愛や結婚は生活を充実させてくれる」と回答している。(Q31)

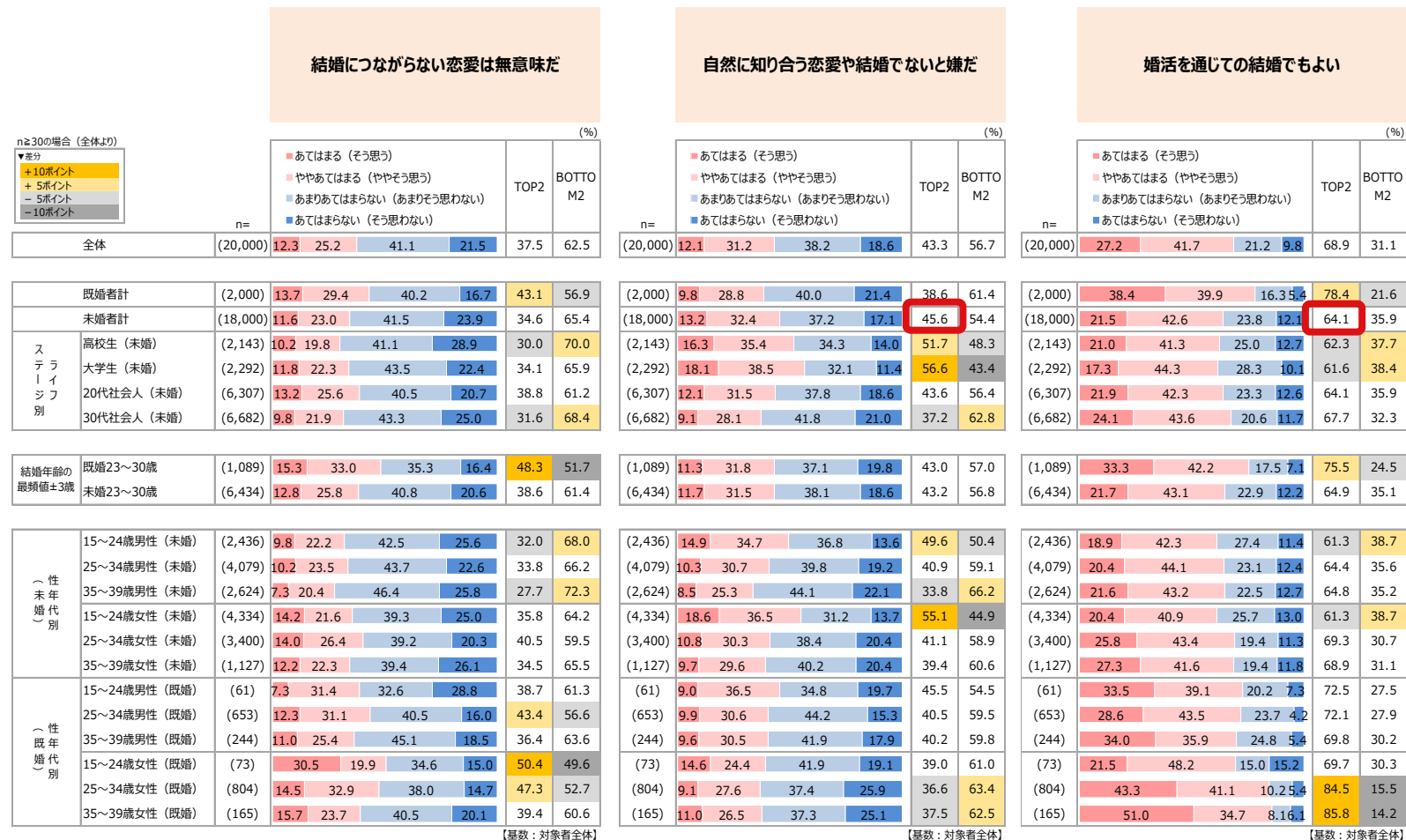
Q31.では、あなた自身の恋愛や結婚についてどのような意識や考えをお持ちですか。
それぞれの項目について、最も近いものをお答えください。(各1つずつ) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前の意識や考えをお答えください。



2. 未婚者の約6割が、「婚活を通じての結婚でもよい」と思っている一方で、約5割は「自然に知り合う恋愛や結婚でないと嫌だ」と回答している。

- 未婚者の64.1%が「婚活を通じての結婚でもよい」と回答している。(Q31)
- 未婚者の45.6%が「自然に知り合う恋愛や結婚でないと嫌だ」と回答している。(Q31)

Q31.では、あなた自身の恋愛や結婚についてどのような意識や考えをお持ちですか。
それぞれの項目について、最も近いものをお答えください。(各1つずつ) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前の意識や考えをお答えください。



3. 未婚者の約8割が、「結婚という形を取らないことも選択肢の一つだ」と回答しており、約5割は「結婚は幸せになるためのステップだ」とは捉えていない。

- 未婚者の76.4%が「結婚という形を取らないことも選択肢の一つだ」と回答しており、既婚者(71.1%)よりも約5pt高い。(Q31)
- 未婚者の46.0%が「結婚は幸せになるためのステップだ」に対してあてはまらないと回答しており、既婚者(32.6%)と約13pt差がある。(Q31)

Q31.では、あなた自身の恋愛や結婚についてどのような意識や考えをお持ちですか。

それぞれの項目について、最も近いものをお答えください。(各1つずつ) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前の意識や考えをお答えください。

恋愛や結婚は面倒だ										結婚という形を取らないことも選択肢の一つだ										結婚は幸せになるためのステップだ																			
n≥30の場合（全体より）										n=										n=																			
▼差分 +10ポイント + 5ポイント - 5ポイント -10ポイント										TOP2 BOTTO M2										TOP2 BOTTO M2																			
全体 (20,000)										19.8 33.9 31.5 14.7 53.8 46.2										34.1 40.5 17.9 7.6 74.6 25.4										17.8 40.7 29.0 12.5 58.5 41.5									
</																																							

【基数：対象者全体】

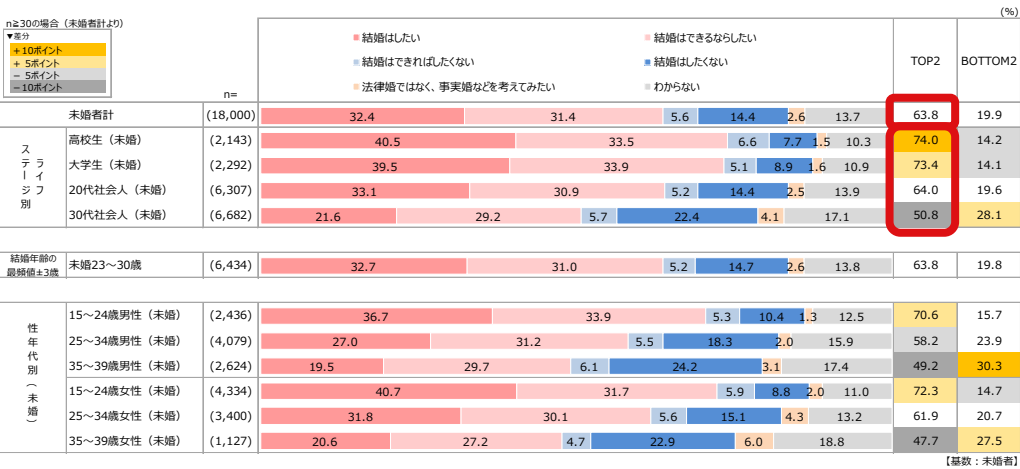
【基数：対象者全体】

【基数：対象者全体】

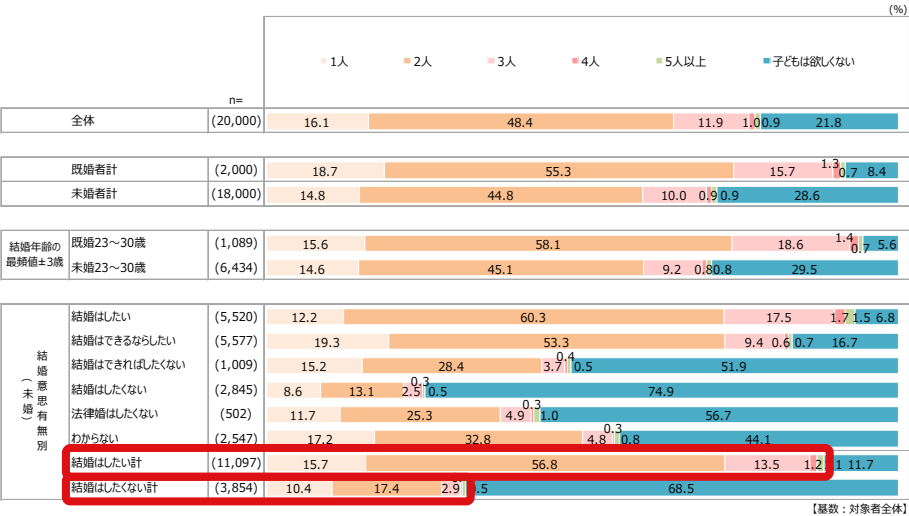
1. 未婚者の約6割が結婚したいと思っており、結婚意向のある未婚者は、約9割が子どもを希望している。
一方で、結婚意向のない未婚者の約3割が子どもを希望している。

- 「あなたは今後、結婚したいと思いますか」に対し、未婚者の63.8%が結婚したいと回答している。また、ライフステージ別で見ると、高校生(74.0%)、大学生(73.4%)、20代社会人(64.0%)、30代社会人(50.8%)で、ライフステージが上がるほど結婚意向が下がる傾向にある。(SQ3)
- 結婚意向のある未婚者のなかで、88.3%が子どもを希望している。(SQ3,Q36)
- 結婚意向のない未婚者のなかで、31.6%が子どもを希望している。(SQ3,Q36)

SQ3.あなたは今後、結婚したいと思いますか。(1つ) ※ここでの結婚とは法律婚のことを指します。



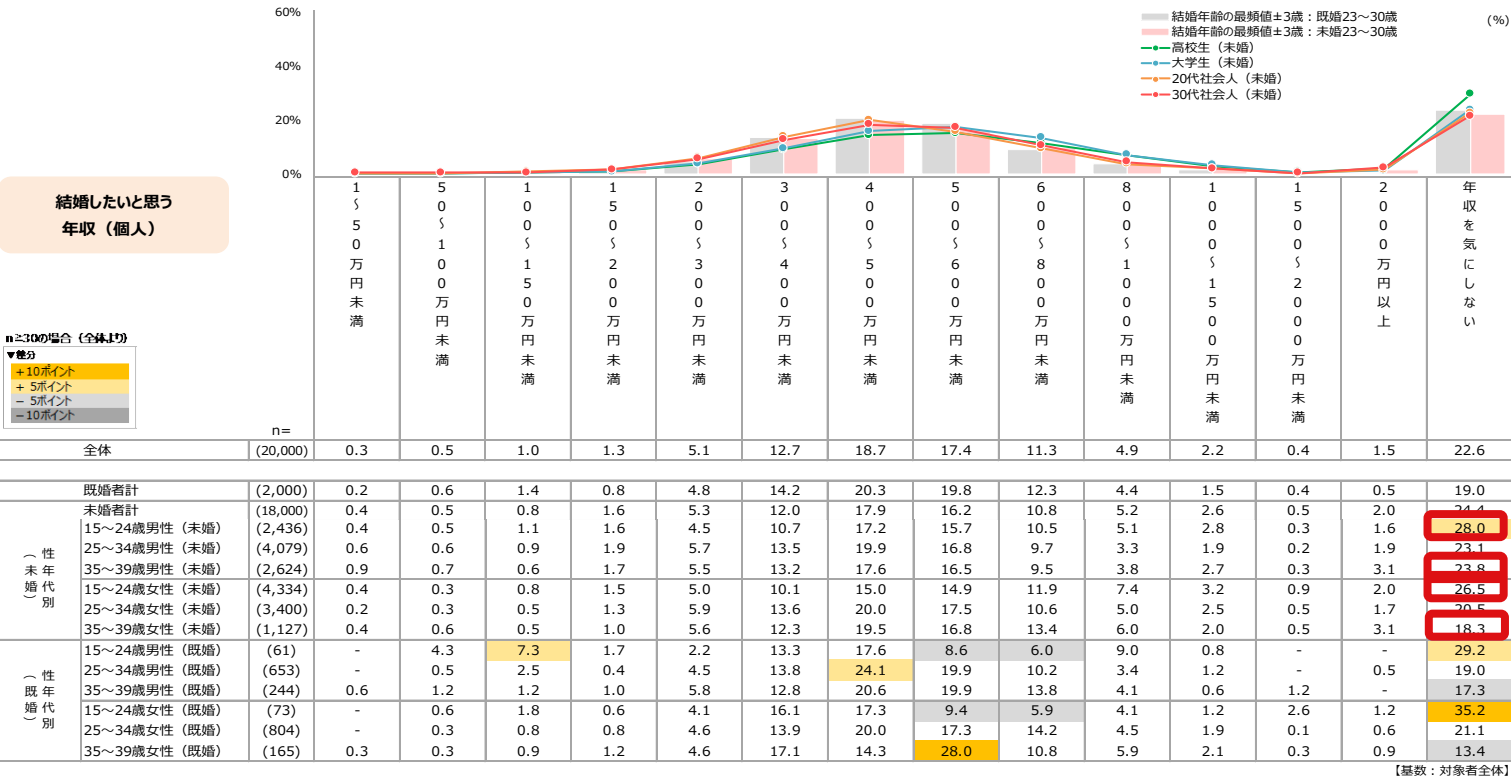
Q36.あなたが希望する子どもの数は何人ですか。
ひとつだけお答えください。(子育て中の方は、既にいる子どもの数を含みます) (1つ)



2. どの程度の個人の年収があれば結婚を考えるかについて、年齢が若い層ほど「年収を気にしない」と回答する割合が高くなる。

- どの程度の自分の年収(個人)があれば結婚を考えるかについて、「年収を気にしない」割合は、15-24歳男性で28.0%、15-24歳女性で26.5%。一方で、35-39歳男性は23.8%、35-39歳女性は18.3%で、若い層ほど年収を気にしない傾向である。(Q34)

Q34.あなたがもし結婚するとした場合、また子どもは一人（一人目）と仮定した場合、どの程度の年収があれば結婚や出産を考えますか。
※すでに配偶者や交際相手・パートナーがいいらっしゃる方は、恋愛前や結婚前の意識や考えをお答えください。



※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す

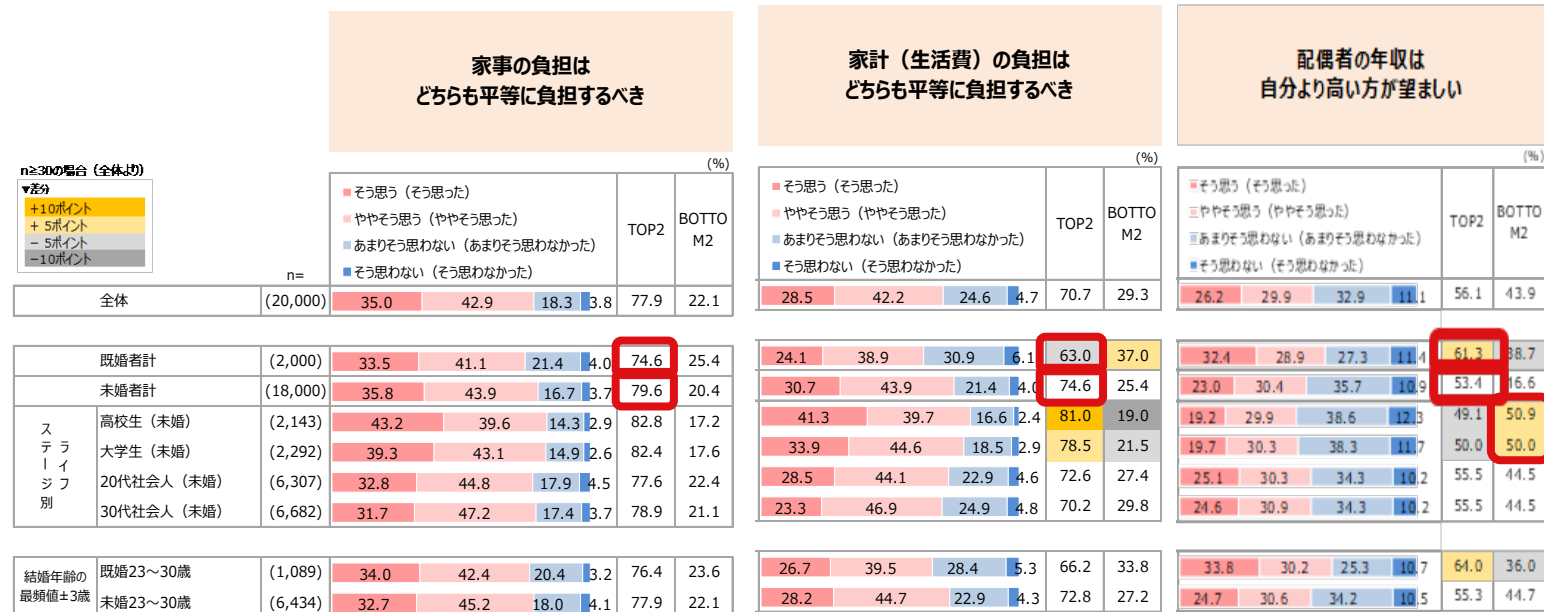
※表中の「－」は回答者がいなかったことを表す

4. 結婚した場合の配偶者との関係について、「家事の負担はどちらも平等に負担すべき」「家計(生活費)の負担はどちらも平等に負担すべき」と回答している未婚者の割合は、既婚者より高い。 また、「配偶者の年収は自分より高い方が望ましい」に対して、高校生・大学生では「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合よりも、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答する割合の方が多い。

- 結婚した場合の配偶者との関係について、「家事の負担はどちらも平等に負担すべき」と回答したのは、既婚者で74.6%、未婚者で79.6%で、未婚者の方が5pt高い。「家計(生活費)の負担はどちらも平等に負担すべき」と回答したのは、既婚者で63.0%、未婚者で74.6%で、未婚者の方が約12pt高い。(Q41)
- また、「配偶者の年収は自分より高い方が望ましい」と回答したのは、既婚者で61.3%、未婚者で53.4%で、既婚者の方が約8pt高い。(Q41)
- 高校生や大学生では、他の年代ほど相手に高い収入を望んでいない。(Q41)

Q41.あなたは結婚した場合、配偶者とどんな関係でいたいと思っていますか。

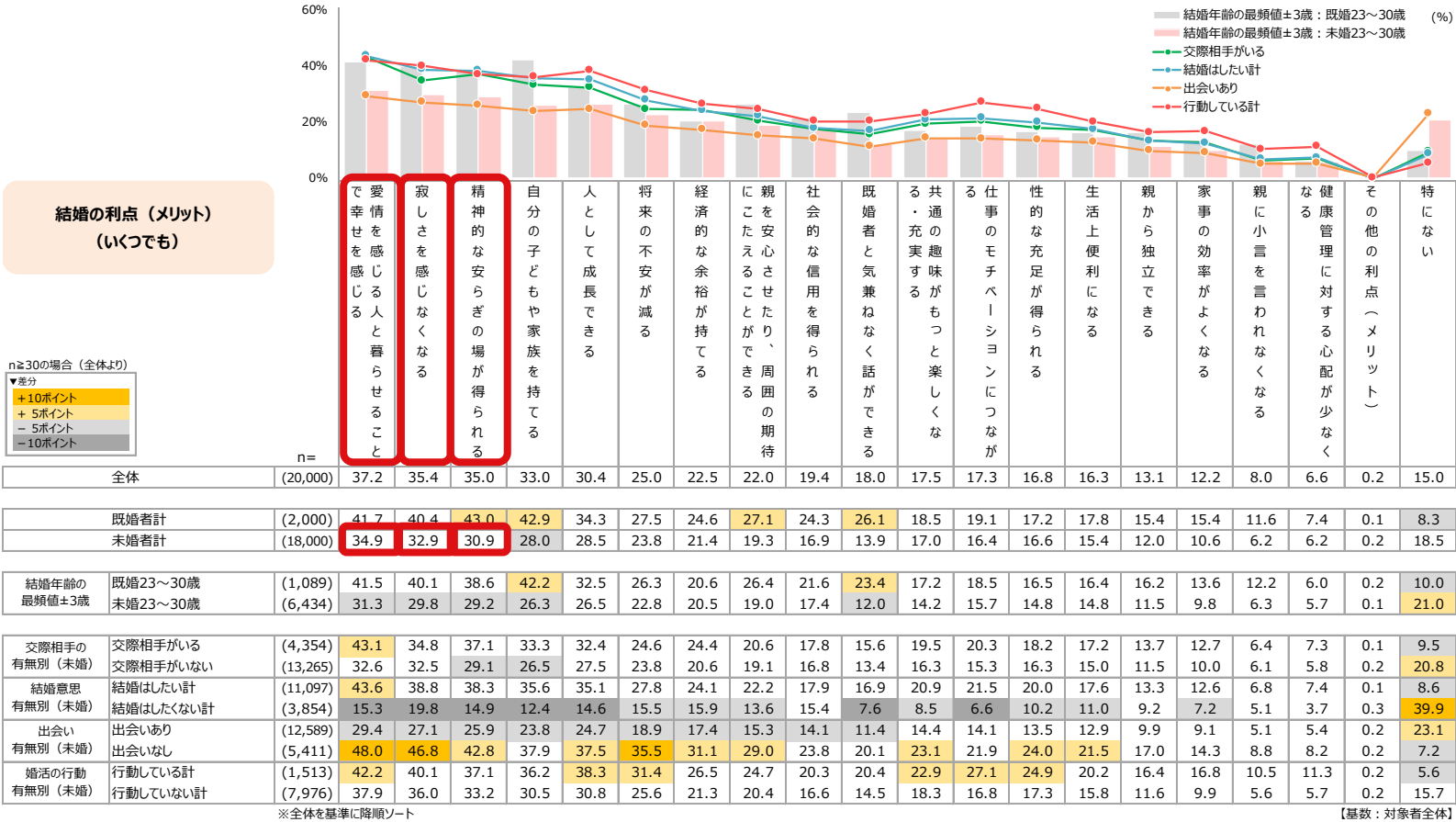
それぞれの項目について、あてはまるものをお答えください。(各1つずつ) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前のことをお答えください。



1. 未婚者が結婚によって得られるメリットとして回答したのは「愛情を感じている人と暮らせる」が約3割で最も高く、次いで、「寂しさを感じなくなる」が挙げられる。結婚をしたくないと回答した人も、同様のメリットが上位に挙げられる。

➤ 結婚によって得られるメリットは、未婚者でみると「愛情を感じる人と暮らせること(34.9%)」が最も高く、次いで「寂しさを感じなくなる(32.9%)」、「精神的な安らぎの場が得られる(30.9%)」。(SQ3,Q46)

Q46. (1) あなたが、結婚によって得られる利点（メリット）と思うことをお答えください。（いくつでも）
※すでに配偶者がいらっしゃる方は、実際に結婚して感じた利点（メリット）をお答えください。

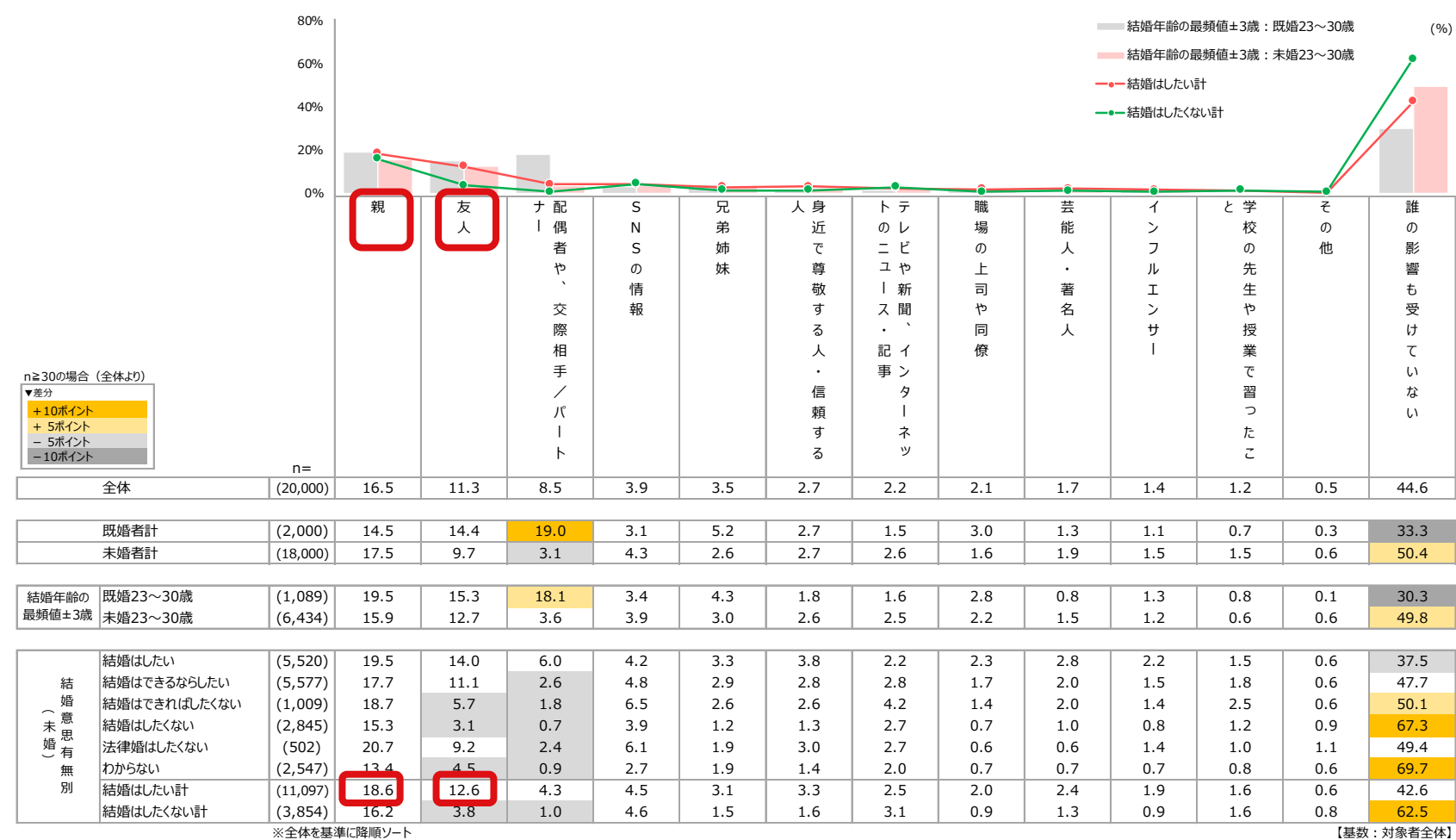


※クロス分析の視点：交際相手の有無別（SQ5）、結婚意思有無別（SQ3）、出会い有無別（Q43）、婚活の行動有無別（SQ6）

2. 結婚意向のある未婚者の約6割が、結婚や出産に対する考え方や捉え方について周囲から影響を受けている。

- 結婚や出産に対する考え方や捉え方について、結婚意向のある未婚者の57.4%が「最も大きい影響を受けた人やコトがある」と回答している。影響を受けた人やコトのなかで、「親(18.6%)」が最も高く、次いで「友人(12.6%)」があがる。(SQ3,Q38)

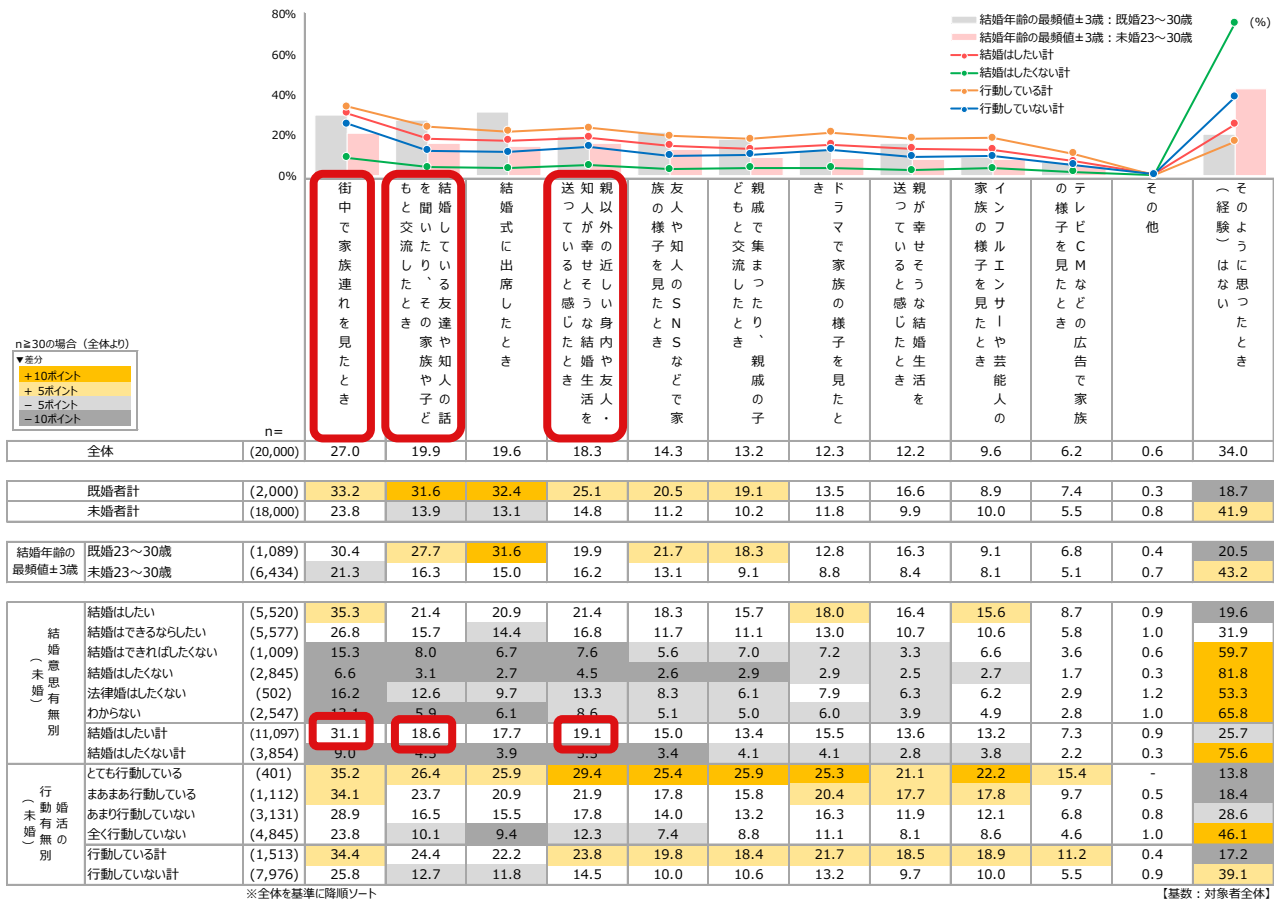
Q38.あなたの結婚や出産に対する考え方や捉え方に、最も大きな影響を受けた人やコトをお答えください。(1つ)



3. 結婚意向のある未婚者が結婚・子どもに憧れを抱くのは「街中で家族連れを見たとき」が約3割で最も高い。

- 結婚意向のある未婚者が結婚・子どもへの憧れを抱くシーン・タイミングとしては、1位が「街中で家族連れを見たとき(31.1%)」、2位が「親以外の近い身内や友人・知人が幸せそうな結婚生活を送っていると感じたとき(19.1%)」、3位が「結婚している友達や知人の話を聞いたり、その家族や子どもと交流したとき(18.6%)」。また、学生を中心にドラマ、芸能人、インフルエンサーの発信からも影響を受けている。(SQ3,Q39)

Q39.あなたは普段の生活の中で、「結婚っていいな」「結婚したいな」「子どものいる生活っていいな」「自分の子どもが欲しいな」と思うときがありますか。あるとした場合、どのようなときに思いましたか。(いくつでも) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前のことをお答えください。

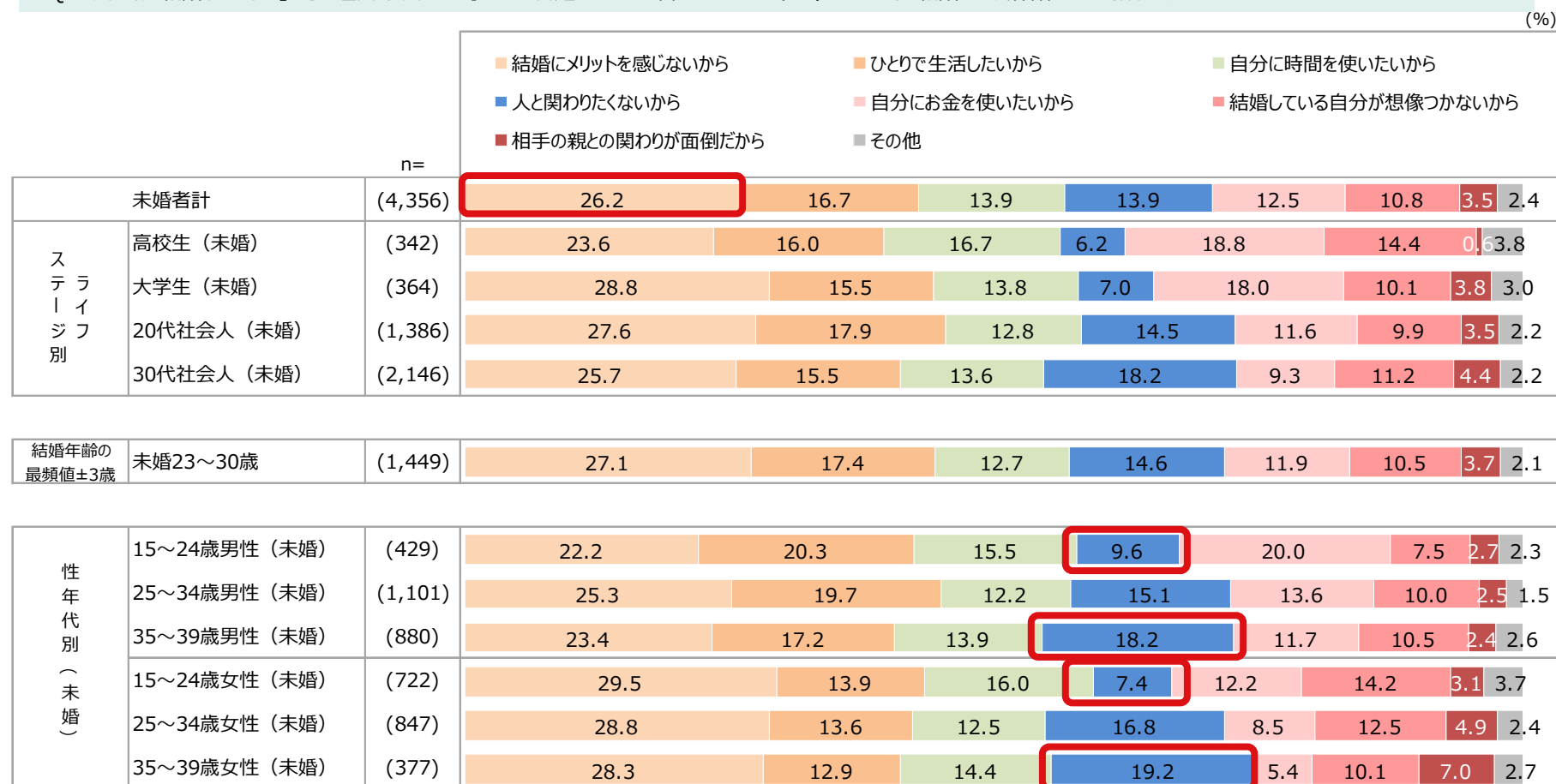


※クロス分析の視点：結婚意思有無別 (SQ3)、婚活の有無別 (SQ6)

1. 結婚意向のない未婚者の、結婚したくない理由は「メリットを感じない」が約3割で最も多い。年齢が上がるにつれて「人と関わりたくない」という理由が高くなる傾向にある。

- 結婚意向のない未婚者の、結婚したくないと思う理由として、最も高いのは「結婚にメリットを感じないから(26.2%)」である。(SQ4)
- また、年齢が上がるにつれて「人と関わりたくないから」という理由が高くなり、男性15-24歳で9.6%、35-39歳で18.2%、女性15-24歳で7.4%、35-39歳で19.2%。(SQ4)

SQ4.あなたが「結婚したくない」と思う理由であなたの考えに一番近いものをお答えください。(1つ) ※ここでの結婚とは法律婚のことを指します。



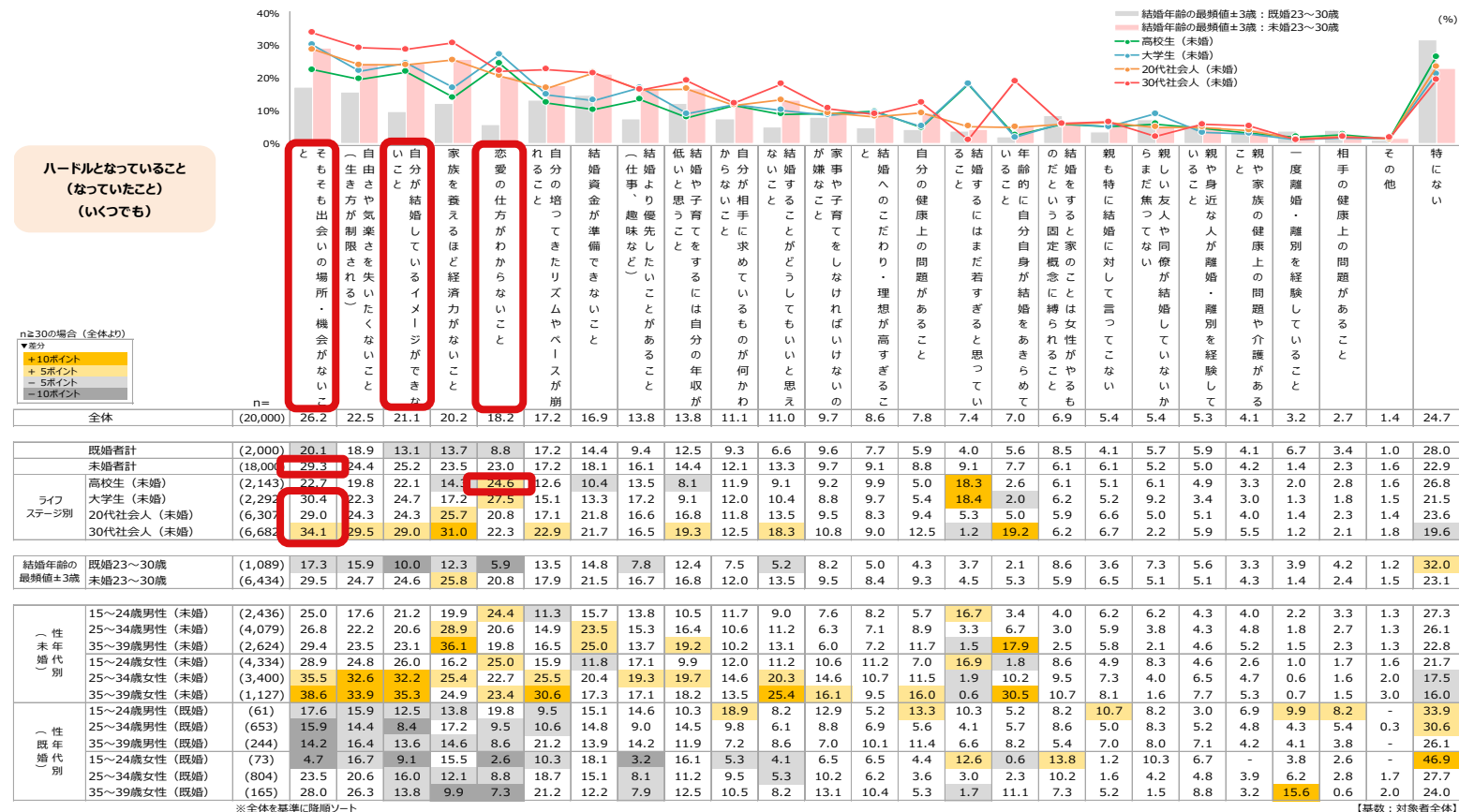
※未婚者計を基準に降順ソート

【基数：未婚者&「結婚したくない」とお答えの方】

2. 未婚者の約3割が、結婚へのハードルとして「そもそも出会いの場所・機会がない」と回答。既婚者と比較して最も差が大きかったのは、「恋愛の仕方がわからないこと」である。

- 未婚者の結婚へのハードルとして最も高いのは「そもそも出会いの場所・機会がないこと」であり、29.3%が回答している。(Q43)
- 未既婚での比較で最も差が大きかったのは、「恋愛の仕方がわからないこと(約14pt差)」、「自分が結婚しているイメージができないこと(約12pt差)」であり、未婚者の方がスコアが高い。(Q43)
- ライフステージ別で見ると、「そもそも出会いの場所・機会がないこと」が大学生で30.4%、20代社会人で29.0%、30代で34.1%で最も高いのに対し、高校生では「恋愛の仕方がわからないこと(24.6%)」が、最も高い。(Q43)

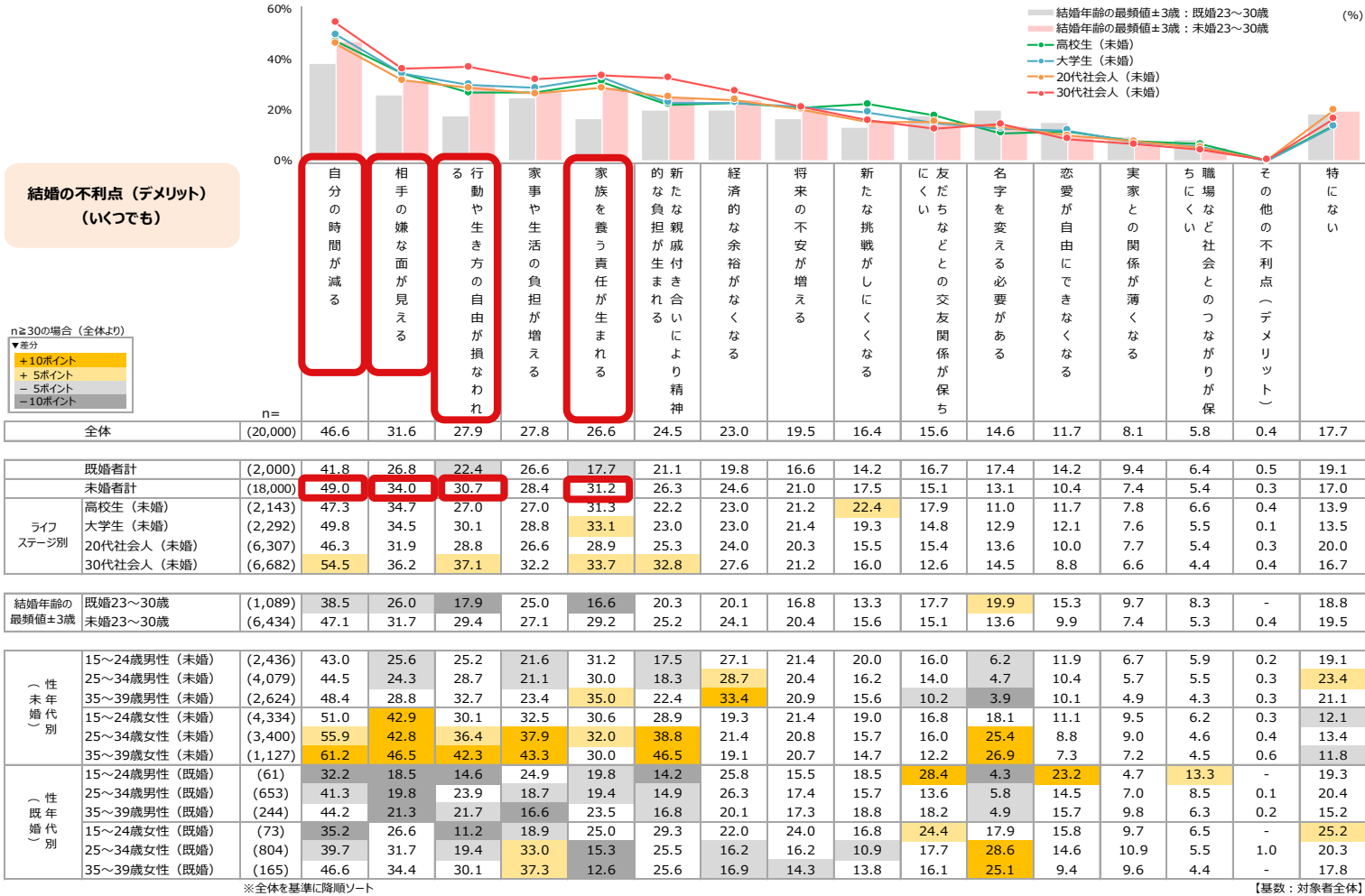
Q43. (1) あなたの結婚へのハードルとなっていることをお答えください。(いくつでも) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前にハードルとなっていたことをお答えください。



3. 未婚者が思う結婚によるデメリットは、「自分の時間が減る」が約5割と最も高い。

- 未婚者が思う結婚によるデメリットは、「自分の時間が減る」が最も高く49.0%で、この項目は年代が上がるごとに高くなる。(Q47)
- 次いで、「相手の嫌な面が見える(34.0%)」、「家族を養う責任が生まれる(31.2%)」、「行動や生き方の自由が損なわれる(30.7%)」がある。(Q47)

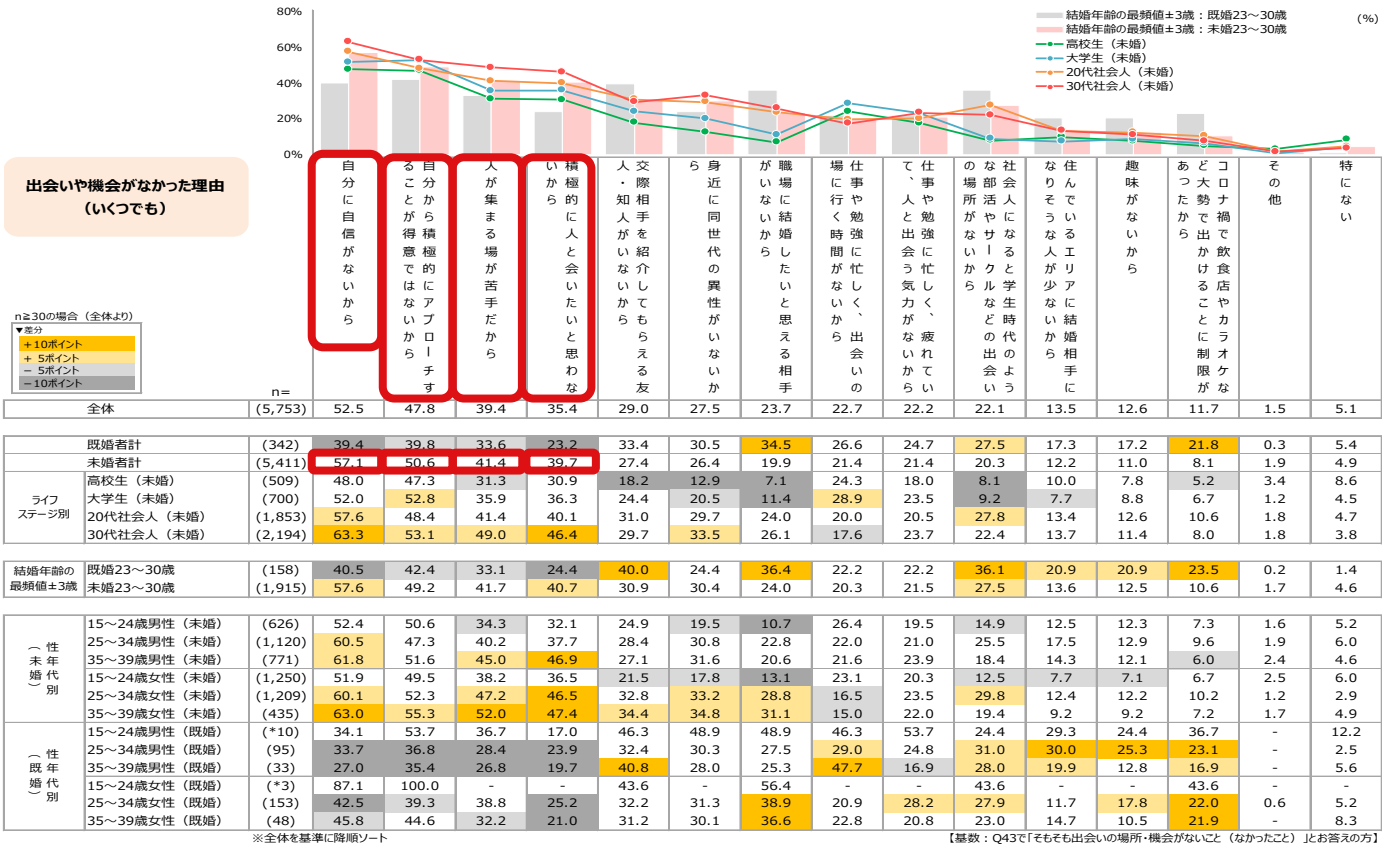
Q47. (1) あなたが、結婚によって失うこと、我慢すること、不利点（デメリット）と思うことをお答えください。（いくつでも）
※すでに配偶者がいらっしゃる方は、実際に結婚して感じた不利点（デメリット）をお答えください。



4. 未婚者の、出会いの場所・機会がなかった理由は、「自分に自信がないから」が約6割で最も高く、次いで、「積極的にアプローチすることが得意でない」、「人が集まる場が苦手」「積極的に人と会いたいと思わない」が挙げられる。

- 未婚者の、出会いの場所・機会がなかった理由は、「自分に自信がないから」が57.1%で最も高く、次いで、「自分から積極的にアプローチすることが得意ではないから(50.6%)」、「人が集まる場が苦手だから(41.4%)」、「積極的に人と会いたいと思わないから(39.7%)」があがる。(Q45)
- 未既婚での比較で見ると、「職場に結婚したいと思える相手がいないから(約15pt差)」、「社会人になると学生時代のような部活やサークルなどの出会いの場所がないから(約7pt差)」、「交際相手を紹介してもらえ友人・知人がいないから (6pt差)」は既婚者の方がスコアが高い。(Q45)

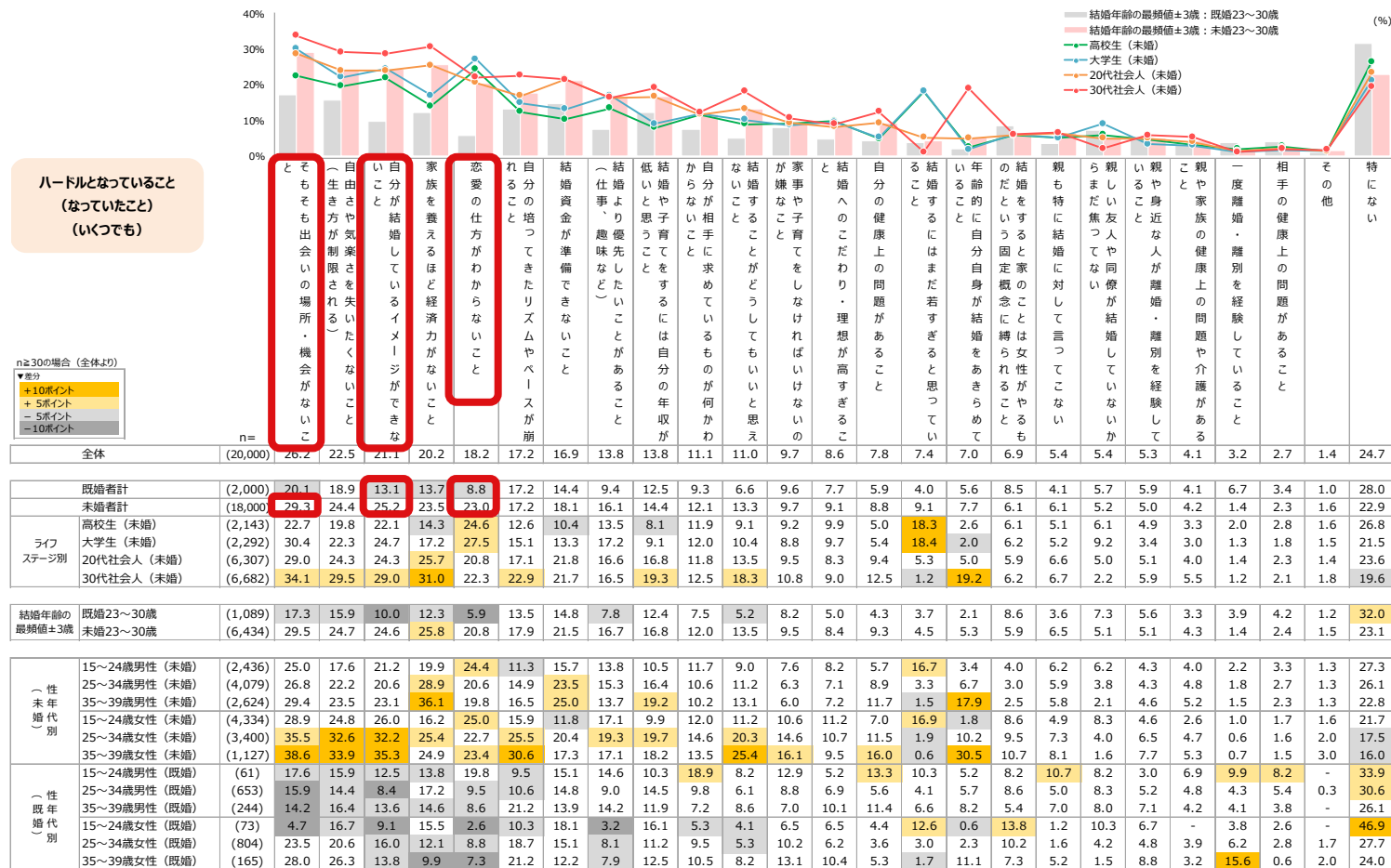
Q45. (1) 出会いの場所・機会がなかったとのことですが、その理由となることとしてあてはまるものをお答えください。(いくつでも)
※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前のことについてお答えください。



5. 未婚者の約3割が、結婚へのハードルとして「そもそも出会いの場所・機会がない」と回答。既婚者と比較して最も差が大きかったのは、「恋愛の仕方がわからないこと」である。

- 未婚者の結婚へのハードルとして最も高いのは「そもそも出会いの場所・機会がないこと」であり、29.3%が回答している。(Q43)
- 未既婚での比較で最も差が大きかったのは、「恋愛の仕方がわからないこと(約14pt差)」、「自分が結婚しているイメージができないこと(約12pt差)」であり、未婚者の方がスコアが高い。(Q43)

Q43. (1) あなたの結婚へのハードルとなっていることをお答えください。(いくつでも) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前にハードルとなっていたことをお答えください。



1. 既婚者が配偶者と出会った場所・機会として回答している割合が最も高いのは「マッチングアプリ」で、約25%である。

- 既婚者の25.1%が、配偶者と出会った場所・機会として、「マッチングアプリ」と回答している。(Q28)
- 次いで、「職場や仕事の関係、アルバイト先(20.5%)」、「学校(9.9%)」、「友人や兄弟姉妹の紹介(9.1%)」があがる。(Q28)

Q28. (1) 過去の恋愛（高校時代以降）で付き合った相手と知り合った場所・機会、出会った場所・機会としてあてはまるものをお答えください。(いくつでも)
※現在、交際相手・パートナーや配偶者がいらっしゃる方も過去の体験としてあてはまるものをすべてお答えください。
(2) そのうち、配偶者や現在の交際相手・パートナーと知り合った場所・機会、出会った場所・機会としてあてはまるものをお答えください。(1つ)



2. 結婚意向のある未婚者のうち、交際相手がない人の約5割が、結婚も視野に入れた結婚相手を見つけるための行動を全くしていない。中でも35-39歳未婚女性では、その割合は約6割に及ぶ。

- 「結婚も視野に入れた相手を見つける」ことについて、結婚意向があり交際相手のいない未婚者の50.2%が「全く行動していない」と回答している。(SQ6)
- さらに、性年代別で見ると、結婚意向があり交際相手のいない35-39歳未婚女性の63.0%が「全く行動をしていない」と回答している。(SQ6)

SQ6.あなたは現在「結婚も視野に入れた相手を見つける」ことについて、どのくらい行動をしていますか。(1つ)

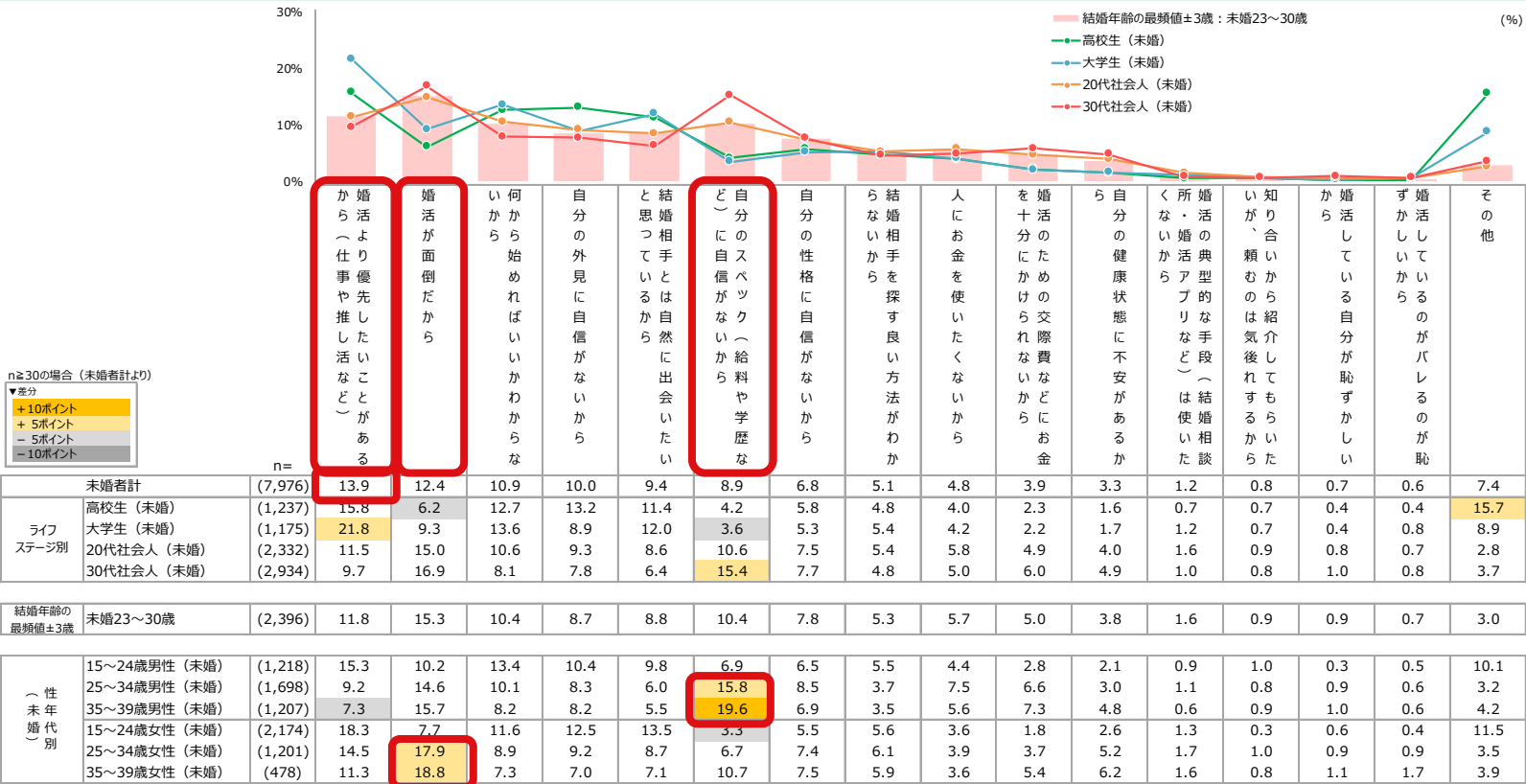
							(%)	
			■ とても行動している ■ まあまあ行動している ■ あまり行動していない ■ 全く行動していない				TOP2	BOTTOM2
n=								
未婚者計		(9,489)	4.2	12.2	33.4	50.2	16.4	83.6
ス テ ー ジ 別	高校生（未婚）	(1,442)	4.1	11.8	35.6	48.5	15.9	84.1
	大学生（未婚）	(1,358)	2.9	11.3	39.3	46.4	14.3	85.7
	20代社会人（未婚）	(2,873)	5.0	14.0	31.9	49.2	18.9	81.1
	30代社会人（未婚）	(3,470)	4.6	10.8	30.1	54.5	15.4	84.6
結婚年齢の 最頻値±3歳	未婚23～30歳	(2,958)	4.8	14.2	32.3	48.6	19.0	81.0
性 年 代 別 （ 未 婚 ）	15～24歳男性（未婚）	(1,478)	4.5	13.2	35.4	46.8	17.8	82.2
	25～34歳男性（未婚）	(2,097)	5.4	14.2	33.2	47.3	19.5	80.5
	35～39歳男性（未婚）	(1,411)	4.1	10.5	32.3	53.1	14.6	85.4
	15～24歳女性（未婚）	(2,496)	3.3	9.6	35.7	51.3	12.9	87.1
	25～34歳女性（未婚）	(1,455)	4.0	13.4	30.4	52.2	17.4	82.6
	35～39歳女性（未婚）	(552)	3.5	10.2	23.4	63.0	13.7	86.3

【基数：未婚者&「結婚したい」と「交際相手がない」とお答えの方】

3. 結婚も視野に入れた相手を見つける行動をしていない理由は「婚活より優先したいことがあるから(仕事や推し活など)」が未婚者で約1割で最も高く、25歳以上の男性は「自分のスペックに自信がないから」、25歳以上の女性は「婚活が面倒だから」が最も高い。

- 未婚者の、結婚も視野に入れた相手を見つけるための行動をしていない理由として、最も高いのは「婚活より優先したいことがあるから(仕事や推し活など)(13.9%)」がある。(SQ9)
- 性年代別で見ると、25歳以上の未婚男性(交際相手なし、結婚を視野に入れた相手を見つける行動をしていない)が、行動をしていない理由は「自分のスペック(給料や学歴など)に自信がないから」が最も高く、25-34歳で15.8%、35-39歳で19.6%となっている。(SQ9)
- 一方、25歳以上の未婚女性(交際相手なし、結婚を視野に入れた相手を見つける行動をしていない)が、行動をしていない理由は「婚活が面倒だから」が最も高く、25-34歳で17.9%、35-39歳で18.8%となっている。(SQ9)

SQ9.現在「結婚も視野に入れた相手を見つける」ことについて行動をしていない理由として、あなたの考えに一番近いものをお答えください。(1つ)



※未婚者計を基準に降順ソート

【基数：未婚者&「結婚したい」&「交際相手がない」&「結婚も視野に入れた相手を見つける行動をしていない」とお答えの方】

4. 婚活に対して、未婚者の約7割が「具体的に何をすればいいかわからない」「自分に自信がなく、何か行動したところで結婚相手を見つけられると思えない」と回答しているほか、「結婚相手を見つけようと何か行動することはかっこ悪い・イメージが悪い」と回答した人は、未既婚ともに約3割。

- 結婚相手を見つけることについて、「結婚相手を見つけたくても、具体的に何をすればいいかわからない」は未婚者で67.2%、既婚者(※結婚前の意識・考え)で57.1%と、約10ptの差がある。「自分に自信がなく、何か行動したところで結婚相手を見つけられると思えない」は未婚者で66.3%、既婚者(※結婚前の意識・考え)で48.9%と、約17ptの差がある。(Q30)
- 「結婚相手を見つけようと何か行動することはかっこ悪い・イメージが悪い」と回答した人は、未婚者で29.7%、既婚者(※結婚前の意識・考え)で30.5%となっている。(Q30)

Q30.あなたは、「結婚相手を見つけること」についてどのような意識がありますか。

それぞれの項目について、あてはまるものをお答えください。(各1つずつ) ※すでに配偶者がいらっしゃる方は、結婚前の意識や考えをお答えください。

自分に自信がなく、何か行動したところで 結婚相手を見つけられると思えない										結婚相手を見つけたくても、 具体的に何をすればいいかわからない										結婚相手を見つけようと何か行動することは かっこ悪い・イメージが悪い										
n≥30の場合（全体より）										n=										n=										
▼差分										TOP2										TOP2										
+10ポイント										BOTTO										BOTTO										
+ 5ポイント										M2										M2										
- 5ポイント																														
-10ポイント																														
全体										(20,000)										(20,000)										
										25.5	34.9	26.2	13.4	60.4	39.6	24.7	39.1	24.0	12.2	63.8	36.2	9.2	20.8	40.5	29.5	30.0	70.0			
既婚者計										(2,000)	15.9	33.0	32.5	18.6	48.9	51.1	(2,000)	19.2	37.9	30.1	12.8	57.1	42.9	(2,000)	9.5	21.0	39.3	30.1	30.5	69.5
未婚者計										(18,000)	30.5	35.9	22.9	10.8	66.3	33.7	(18,000)	27.5	39.7	20.9	11.9	67.2	32.8	(18,000)	9.0	20.7	41.1	29.1	29.7	70.3
ス テ ィ ジ フ 別	高校生（未婚）	(2,143)	27.5	37.9	23.9	10.6	65.5	34.5	(2,143)	32.5	41.8	17.2	8.5	74.3	25.7	(2,143)	9.9	22.0	39.5	28.6	31.9	68.1								
	大学生（未婚）	(2,292)	26.3	37.6	26.1	10.0	63.9	36.1	(2,292)	28.4	43.6	18.4	9.6	72.0	28.0	(2,292)	9.7	22.9	42.5	24.9	32.6	67.4								
	20代社会人（未婚）	(6,307)	29.1	36.0	23.4	11.6	65.1	34.9	(6,307)	25.4	38.7	22.9	12.9	64.2	35.8	(6,307)	8.9	20.6	40.5	29.9	29.6	70.4								
	30代社会人（未婚）	(6,682)	36.5	34.1	19.6	9.8	70.6	29.4	(6,682)	25.6	38.0	22.6	13.8	63.6	36.4	(6,682)	7.7	18.0	43.7	30.6	25.7	74.3								
結婚年齢の 最頻値±3歳	既婚23〜30歳	(1,089)	14.7	31.7	34.1	19.4	46.4	53.6	(1,089)	21.2	36.2	29.7	12.9	57.4	42.6	(1,089)	9.5	21.3	37.1	32.1	30.8	69.2								
	未婚23〜30歳	(6,434)	29.0	36.0	23.6	11.4	65.0	35.0	(6,434)	24.9	39.4	23.1	12.6	64.3	35.7	(6,434)	8.8	20.6	40.7	29.9	29.4	70.6								
（性 年 代 別） 未婚	15〜24歳男性（未婚）	(2,436)	26.9	35.8	25.6	11.8	62.6	37.4	(2,436)	30.0	40.9	19.5	9.6	70.8	29.2	(2,436)	10.9	23.6	39.0	26.5	34.5	65.5								
	25〜34歳男性（未婚）	(4,079)	29.7	35.7	24.3	10.3	65.4	34.6	(4,079)	24.8	38.1	24.4	12.7	62.9	37.1	(4,079)	9.3	20.8	40.5	29.4	30.1	69.9								
	35〜39歳男性（未婚）	(2,624)	35.7	34.3	20.2	9.8	70.0	30.0	(2,624)	25.3	36.6	24.3	13.9	61.8	38.2	(2,624)	8.0	19.9	43.7	28.3	27.9	72.1								
	15〜24歳女性（未婚）	(4,334)	29.3	37.8	23.0	10.0	67.0	33.0	(4,334)	30.2	41.6	17.6	10.6	71.8	28.2	(4,334)	8.5	21.8	41.4	28.3	30.3	69.7								
	25〜34歳女性（未婚）	(3,400)	32.0	35.6	20.6	11.8	67.6	32.4	(3,400)	24.9	40.2	20.8	14.1	65.1	34.9	(3,400)	7.8	17.5	41.8	32.9	25.3	74.7								
（性 年 代 別） 既婚	35〜39歳女性（未婚）	(1,127)	40.6	32.0	17.9	9.4	72.7	27.3	(1,127)	27.7	34.9	22.6	14.8	62.6	37.4	(1,127)	7.6	15.0	45.5	31.9	22.6	77.4								
	15〜24歳男性（既婚）	(61)	17.6	23.6	32.2	26.6	41.2	58.8	(61)	16.3	40.8	21.0	21.9	57.1	42.9	(61)	16.3	25.3	23.2	35.2	41.6	58.4								
	25〜34歳男性（既婚）	(653)	14.5	36.0	32.9	16.5	50.5	49.5	(653)	15.1	40.5	33.9	10.5	55.6	44.4	(653)	12.6	27.7	34.1	25.6	40.3	59.7								
	35〜39歳男性（既婚）	(244)	14.1	36.0	33.1	16.7	50.2	49.8	(244)	17.1	33.7	36.1	13.1	50.8	49.2	(244)	10.5	25.1	42.1	22.3	35.6	64.4								
	15〜24歳女性（既婚）	(73)	23.8	34.0	21.1	21.1	57.7	42.3	(73)	29.3	38.4	20.8	11.5	67.7	32.3	(73)	13.0	18.7	29.9	38.4	31.7	68.3								
（性 年 代 別） 既婚	25〜34歳女性（既婚）	(804)	17.3	32.2	30.4	20.1	49.5	50.5	(804)	24.3	34.8	27.4	13.4	59.1	40.9	(804)	7.6	16.4	37.7	38.2	24.0	76.0								
	35〜39歳女性（既婚）	(165)	15.7	27.0	37.6	19.6	42.7	57.3	(165)	14.5	46.6	24.5	14.4	61.1	38.9	(165)	6.7	16.0	51.8	25.5	22.8	77.2								
【基数：対象者全体】										【基数：対象者全体】										【基数：対象者全体】										

【基数：対象者全体】

【基数：対象者全体】

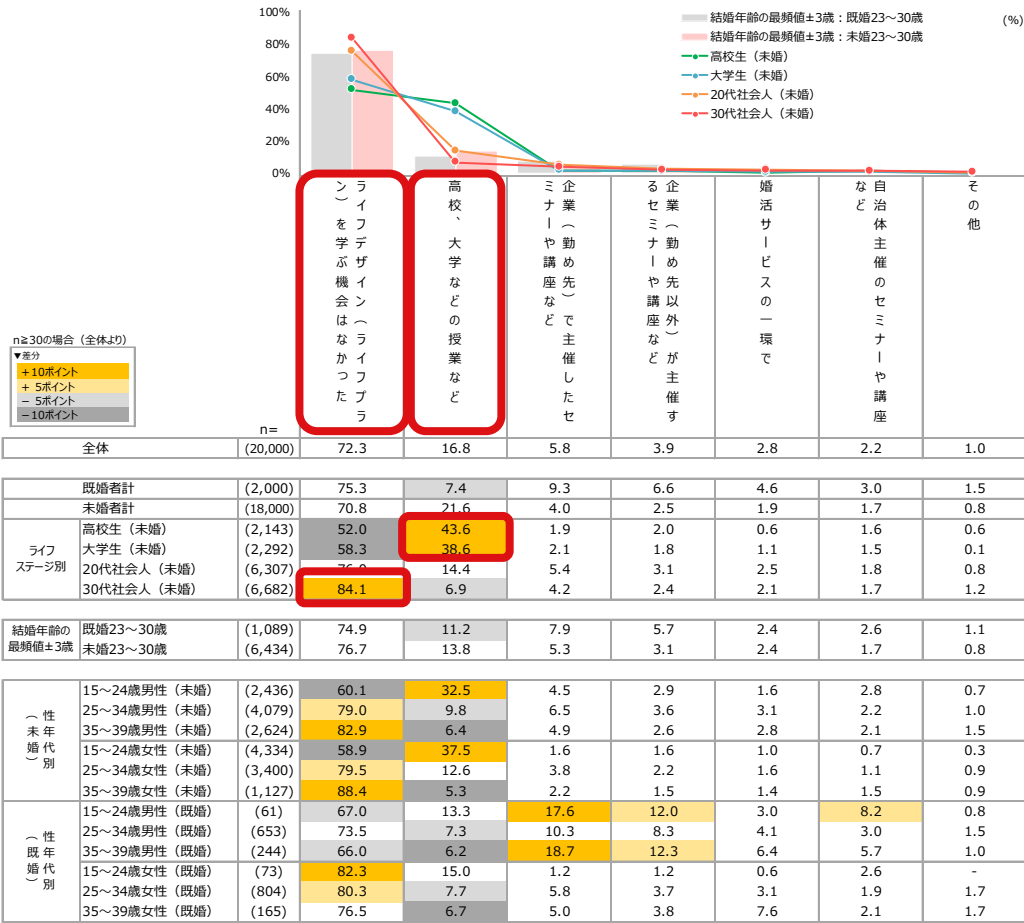
【基数：対象者全体】

1. 未婚者の約7割がライフデザインを学んだことがなく、年代が上がるにつれて学んでいない割合が高くなる。

高校生、大学生ともに約4割が、学校の授業などでライフデザインを学んでいる。

- 未婚者の70.8%がライフデザインを学ぶ機会はなかったと回答している。年代が上がるにつれてその割合は高くなり、30代社会人は84.1%が学んだことがない。(Q50)
- 高校生は43.6%、大学生は38.6%が学校での授業などを通して、ライフデザインを学んでいる。(Q50)

Q50.あなたご自身のライフデザイン（ライフプラン）について学んだ機会が、これまでにありましたか。あった方は、どちらで学んだのかも含めてお答えください。（いくつでも）



※全体を基準に降順ソート

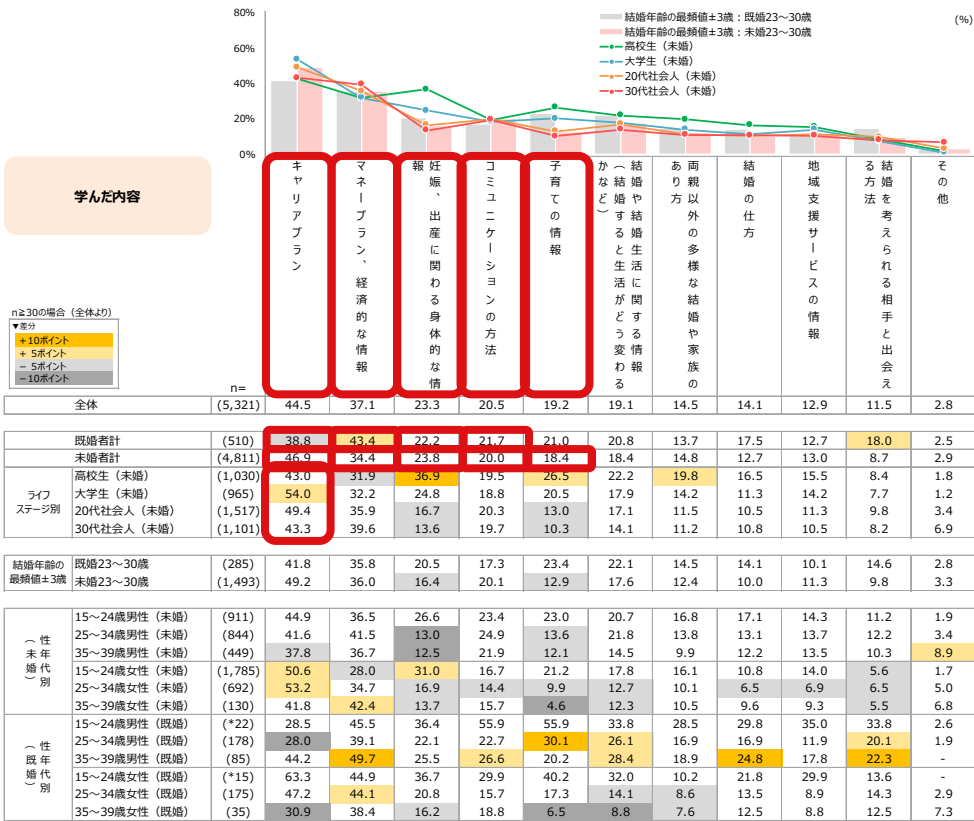
【基数：対象者全体】

※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す

2. 未婚者のうちライフデザインで学んだことがある内容は、キャリアプランが約5割で最も高く、次いでマネープランが高い。結婚生活に関わる情報や地域支援サービス、妊娠・出産や子育て情報は、それらに比べて低い。

- 未婚者のうちライフデザインで学んだ内容は、「キャリアプラン(46.9%)」が最も高く、次いで「マネープラン、経済的な情報(34.4%)」。一方で、結婚や子育て関連では「妊娠・出産に関わる身体的な情報(23.8%)」が最も高く、次いで「子育ての情報(18.4%)」、「結婚や結婚生活に関する情報(18.4%)」が挙げられる。(Q51)
- 既婚者で学ばれているのは、「マネープラン、経済的な情報(43.4%)」が最も高く、次いで「キャリアプラン(38.8%)」、「妊娠・出産に関わる身体的な情報(22.2%)」、「コミュニケーションの方法(21.7%)」が挙げられる。(Q51)
- ライフステージ別で見るとすべてのステージで「キャリアプラン」が最も学ばれており、高校生では43.0%、大学生では54.0%、20代社会人では49.4%、30代社会人では43.3%となっている。(Q51)

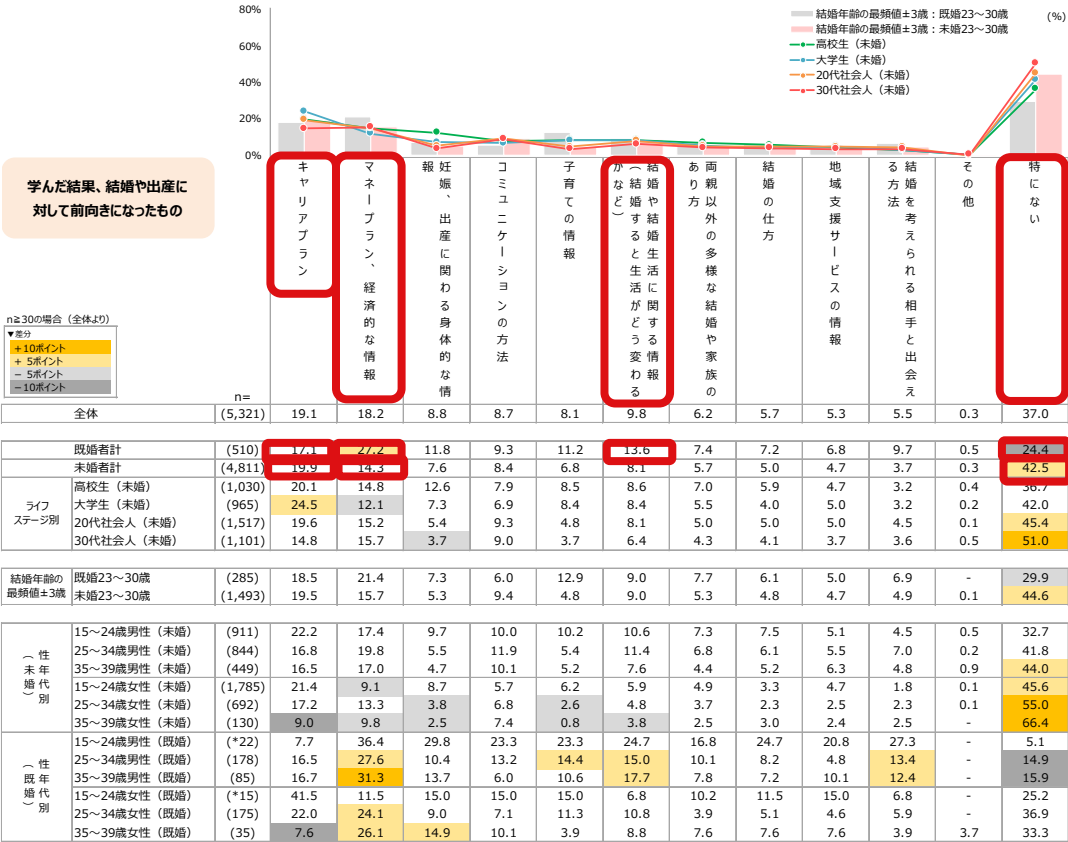
Q51.あなたご自身のライフデザイン（ライフプラン）を学ぶ機会はこれまでにあったとのことですが、どのようなことを学んだのか、下記の中からお答えください。（いくつでも）



3. 学んだ結果、結婚・出産に前向きになったライフデザインの内容は、既婚者では「マネープラン」が約3割で最も高く、次いで「特にない」、「キャリアプラン」が挙げられる。未婚者では「特にない」が約4割で最も高く、次いで「キャリアプラン」が約2割となっている。

- 学んだ結果、結婚や出産に対して前向きになったライフデザインの内容について、既婚者では、「マネープラン、経済的な情報(27.2%)」が最も高く、次いで「特にない(24.4%)」「キャリアプラン(17.1%)」「結婚や結婚生活に関する情報(13.6%)」が挙げられる。(Q51)
- 学んだ結果、結婚や出産に対して前向きになったライフデザインの内容について、未婚者では、「特にない(42.5%)」が最も高く、次いで「キャリアプラン(19.9%)」、「マネープラン(14.3%)」が挙げられる。(Q51)

Q51.あなたご自身のライフデザイン（ライフプラン）を学ぶ機会はいくつまであったとありますが、
(2) 学んだ結果、結婚や出産に対して前向きになったものをお答えください。(いくつでも)



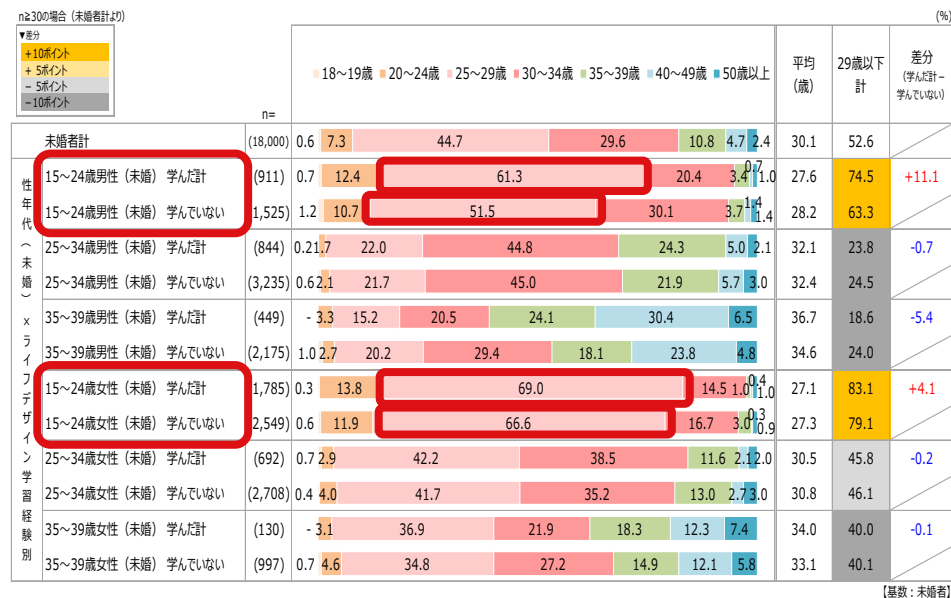
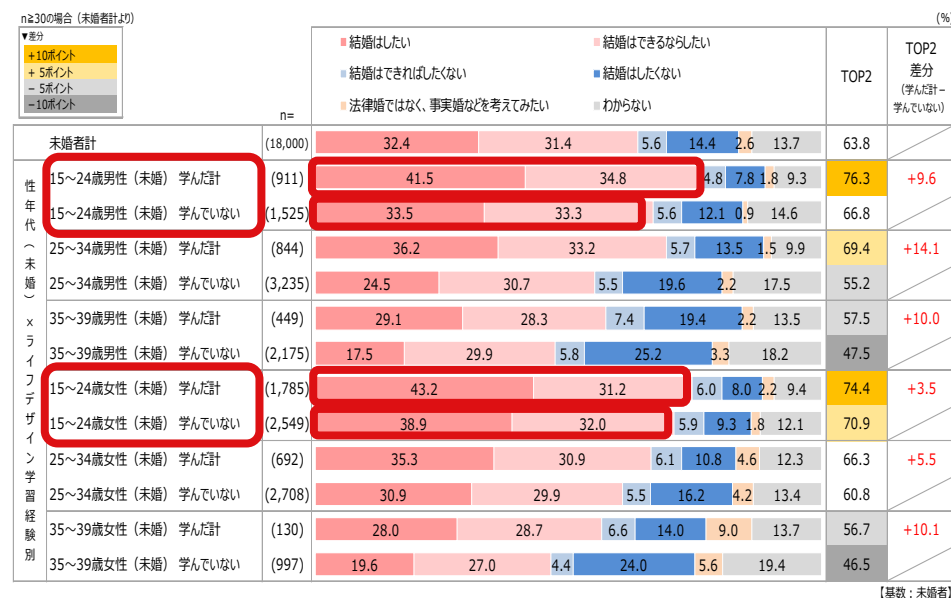
※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す

4. 未婚の15～24歳において、ライフデザインを学んだことのある人の方が、今後結婚したいと思う割合が高くなり、理想の結婚年齢を「25歳から29歳」と回答する割合も高くなる傾向にある。

- 「結婚したい」「結婚はできるならしたい」と回答する割合は、15～24歳の未婚の男性において、ライフデザインを学んでいない人（66.8%）よりもライフデザインを学んだ人（76.3%）の方が高くなり、未婚の女性においても、ライフデザインを学んでいない人（70.9%）よりライフデザインを学んだ人（74.4%）の方が高い。（SQ3, Q50）
- 15～24歳の未婚男性において、理想の結婚年齢として、ライフデザインを学んでいない人（51.5%）より学んだ人（61.3%）の方が、理想の結婚年齢を「25歳から29歳」と回答する割合が高い。未婚女性においても、学んでいない人（66.6%）よりライフデザインを学んだ人（69.0%）の方が、理想の結婚年齢を「25歳から29歳」と回答する割合が若干高くなる。（Q33, Q50）

SQ3.あなたは今後、結婚したいと思いますか。（1つ）※ここでの結婚とは法律婚のことを指します。

Q33.あなたがもし結婚するとした場合、理想の結婚年齢をお答えください。



※クロス分析の視点：ライフデザインの学習経験（学んだ計（Q51S1で1-11）、学んでいない（Q50で1））

※クロス分析の視点：ライフデザインの学習経験（学んだ計（Q51S1で1-11）、学んでいない（Q50で1））

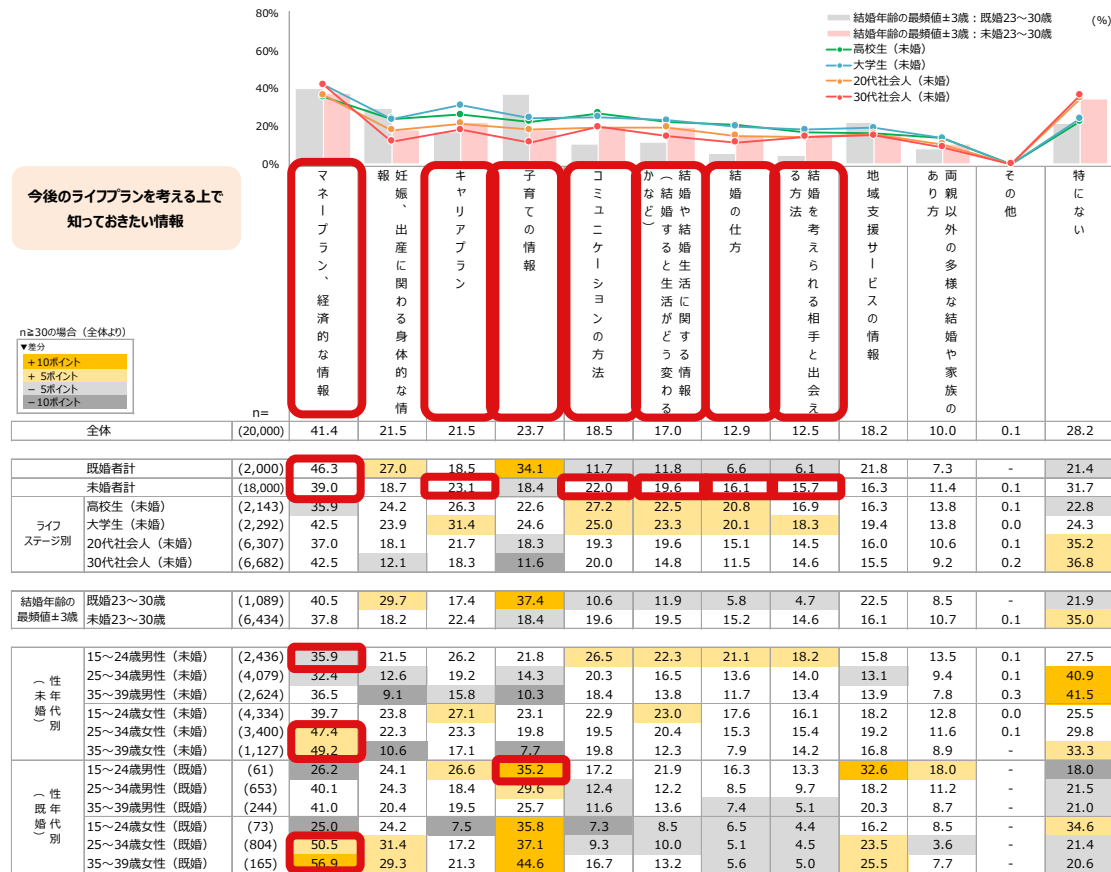
※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す

5. 今後のライフプランを考える上で知りたい情報は、未婚者ともに「マネープラン」が最も高く、未婚者は「コミュニケーションの方法」、「結婚や結婚生活に関する情報」、「結婚の仕方」、「出会う方法」が既婚者に比べて高い。

- 今後のライフプランを考える上で知っておきたい情報は、未婚者ともに「マネープラン、経済的な情報」が最も高く、未婚者では39.0%、既婚者では46.3%となっている。
- 知っておきたい情報の中で、未婚者の方が既婚者よりも高かった回答は、「キャリアプラン (23.1%)」「コミュニケーションの方法(22.0%)」「結婚や結婚生活に関する情報(19.6%)」「結婚の仕方(16.1%)」、「結婚を考えると生活がどう変わるか(15.7%)」などが挙げられる。(Q52)
- 知っておきたい情報を性年代別で見ると、15-24歳未婚男性では、「マネープラン、経済的な情報(35.9%)」が最も高く、「特にない(27.5%)」「キャリアプラン(26.2%)」が挙げられる。15-24歳既婚男性では「子育ての情報(35.2%)」が最も高く、「地域支援サービスの情報(32.6%)」、「キャリアプラン(26.6%)」が挙げられる。また25歳以上の女性では、未婚者ともに、「マネープラン、経済的な情報」が最も高い。(Q52)

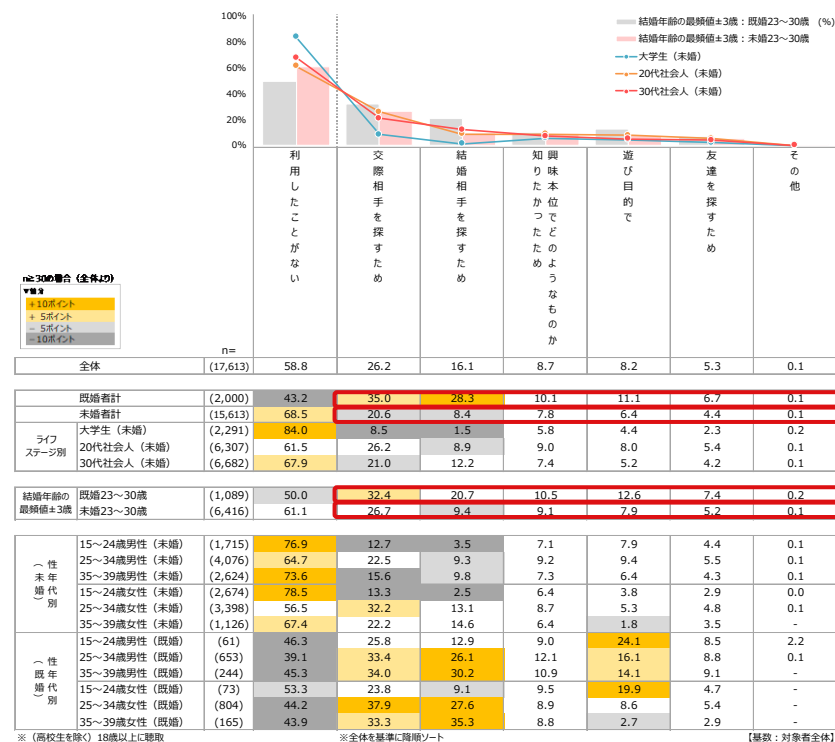
Q52.あなたのこれまでの人生を振り返って下記の回答にお答えください。

(2) では、今後のライフプランを考える上で知っておきたい情報をお答えください。(いくつでも)



- 既婚者の、結婚相手と出会った場所・機会で最高ののは、マッチングアプリで25.1%。次いで、職場や仕事関係、アルバイト先で20.5%となっている。(Q28)
- 既婚者の56.8%はマッチングアプリを利用したことがある。一方、未婚者の利用経験は31.5%で約25ptの差がある。(Q54)
- マッチングアプリの利用経験について、23-30歳では、既婚者が50.0%、未婚者は38.9%が利用経験ありで、約11ptの差がある。(Q54)

Q54.あなたは、「マッチングアプリ」を利用したことがありますか。利用した人は目的も含めてお答えください。（いくつでも）
※配偶者がいらっしゃる方は、結婚前の状況としてお答えください。



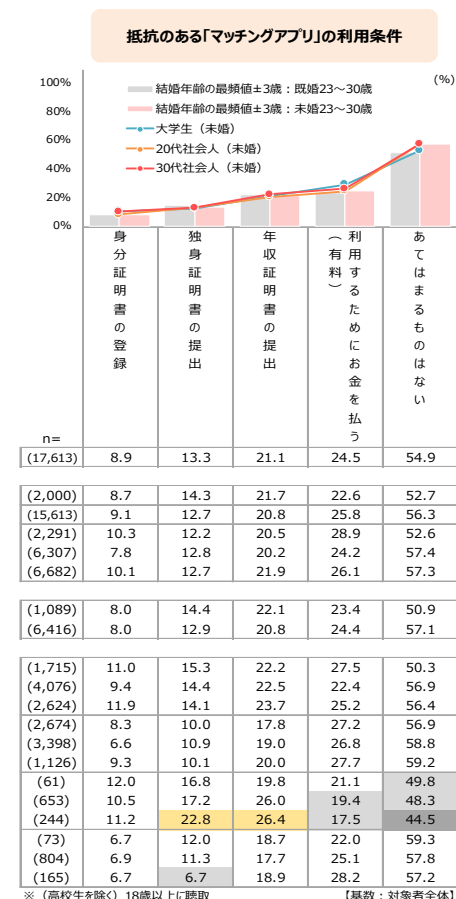
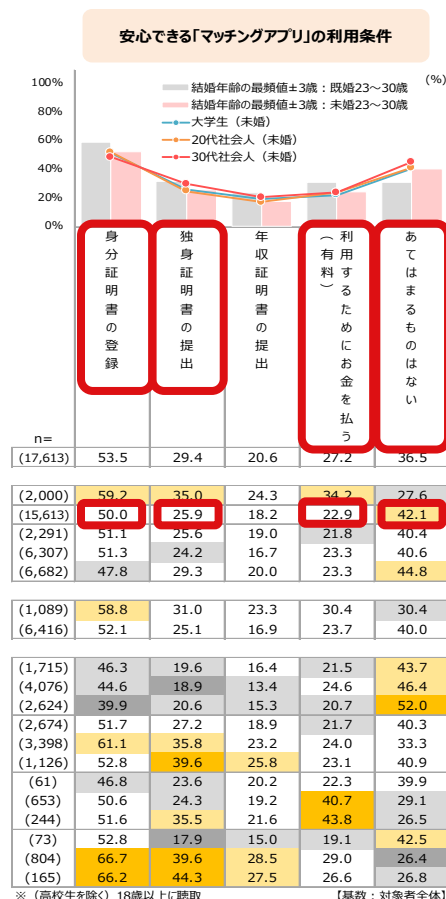
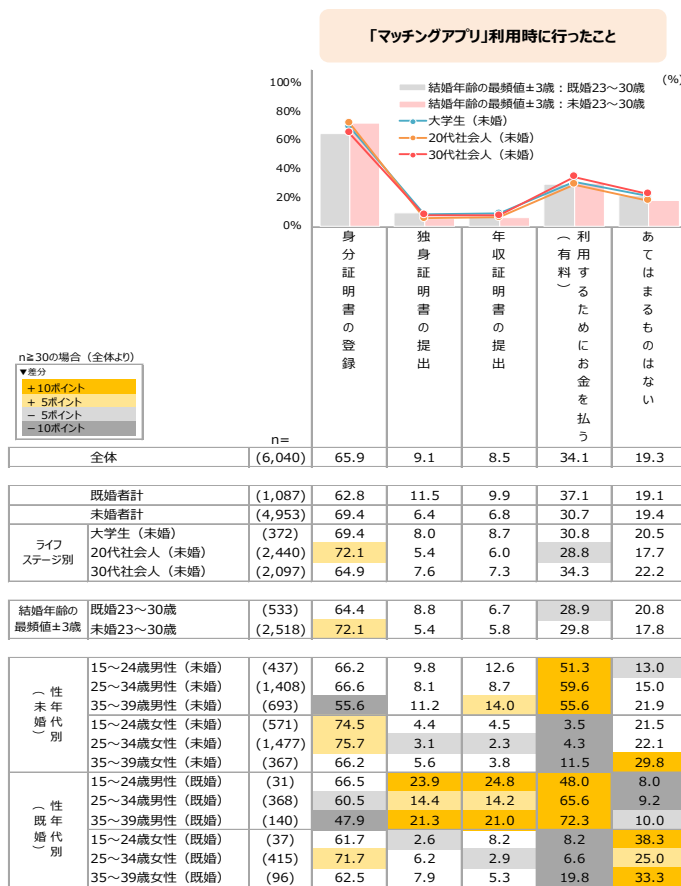
2. 安心して利用できるマッチングアプリの利用条件は、未婚者では「身分証の登録」が約5割で最も高く、次いで、「独身証明書の提出」「有料であること」が挙げられる。一方、約4割が「あてはまるものはない」と回答している。

- 安心して利用できるマッチングアプリの利用条件として、未婚者では「身分証の登録」が50.0%で最も高く、次いで「独身証明書の提出(25.9%)」、「利用するためにお金を払う(有料) (22.9%)」が挙げられる。(Q56)
- 未婚者の42.1%が、安心して利用できるマッチングアプリの条件について「あてはまるものはない」と回答している。(Q56)

Q56. (1) あなたが「マッチングアプリ」を利用する際に、行ったことをお答えください。(いくつでも)

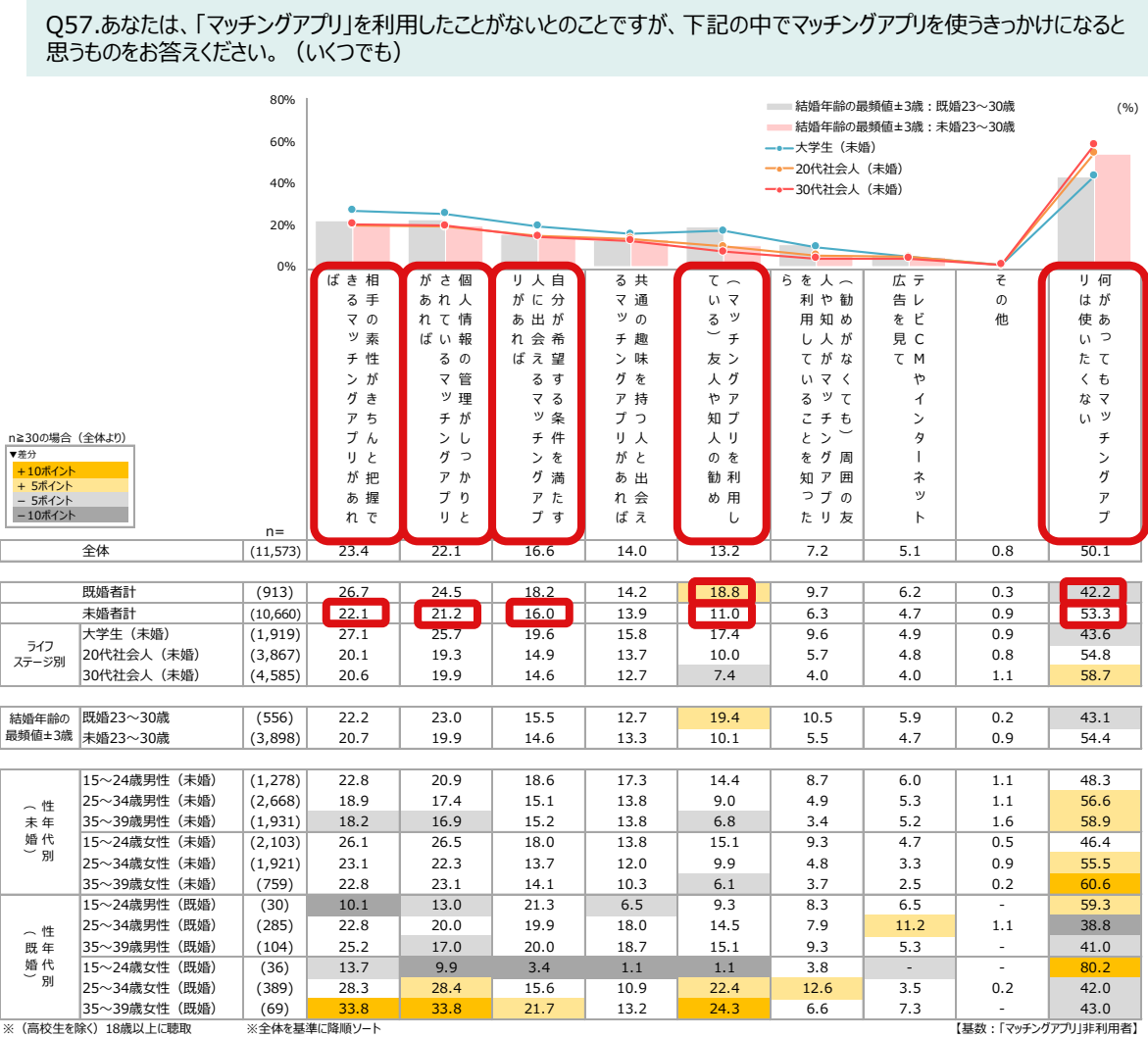
(2) あなたが「マッチングアプリ」を利用する際に、利用条件になっていれば安心して利用できると思うことをお答えください。(いくつでも)

(3) 次にあげた中で、安心・安全な「マッチングアプリ」を利用するために行うためと考えても、あなたご自身が抵抗があることをお答えください。(いくつでも)



3. マatchingアプリを利用するきっかけになると思うものとして、未婚者では「相手の素性がきちんと把握できる」が最も高く、次いで、「個人情報の管理がしっかりとされている」「希望する条件の人に出会える」が挙げられる。一方で、未婚者の約5割は「何があっても使いたくない」と回答している。

- マatchingアプリを利用するきっかけになると思うものとして、未婚者では「相手の素性がきちんと把握できるマatchingアプリがあれば」が22.1%、次いで「個人情報の管理がしっかりとされているマatchingアプリがあれば(21.2%)」、「自分が希望する条件を満たす人に出会えるマatchingアプリがあれば(16.0%)」が挙げられる。(Q57 バブルチャートもあわせて参照)
- 既婚者ではマatchingアプリを利用するきっかけになりそうなものとして、「友人や知人の勧め」が18.8%なのに対し、未婚者では11.0%と低い。(Q57)
- 未婚者の53.3%が、「何があってもマatchingアプリは使いたくない」と回答。既婚者(42.2%)と比較すると、約11pt高い。(Q57)

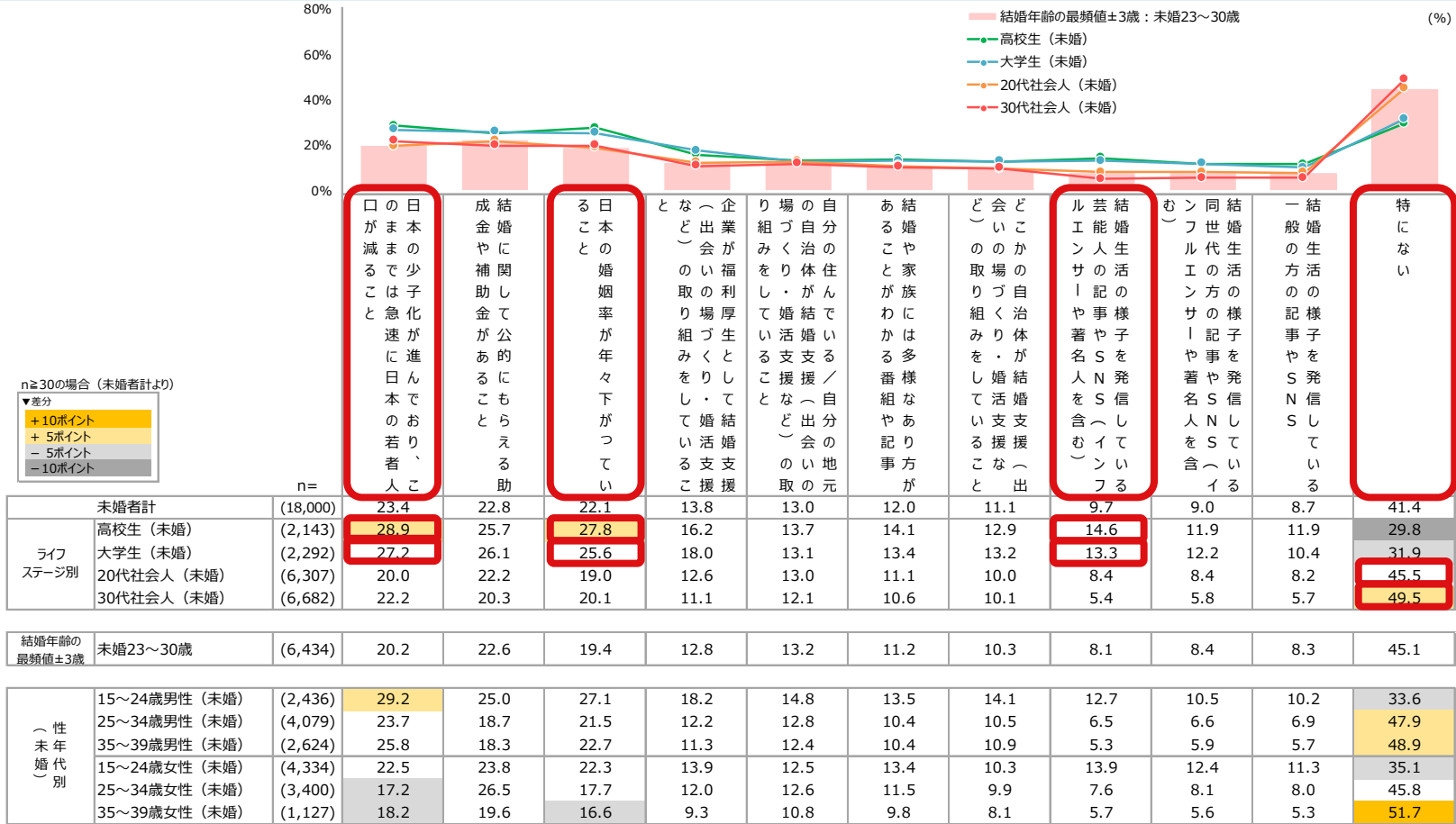


※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す

1. 未婚者のうち、結婚に関連する情報に高い興味関心を持っているのは、高校生や大学生であり、特に少子化や婚姻率低下等の社会問題、結婚生活のリアルな情報について、社会人と比べて興味関心が高い。

- 結婚に関連する情報で、社会人と比較して高校生・大学生で特に興味関心が高いものは、「少子化の問題(高校生28.9%)(大学生27.2%)」「婚姻率の低下(高校生27.8%)(大学生25.6%)」、「結婚生活の様子を配信している芸能人の記事やSNS(高校生14.6%)(大学生13.3%)」となっている。(Q59)
- 未婚の20代社会人の45.5%、30代社会人の49.5%が結婚に関連する情報の中で興味関心があるものは「特になし」と回答している。(Q59)

Q59.次にあげたような「結婚」に関連する情報の中で、興味関心があるものをお答えください。(いくつでも)



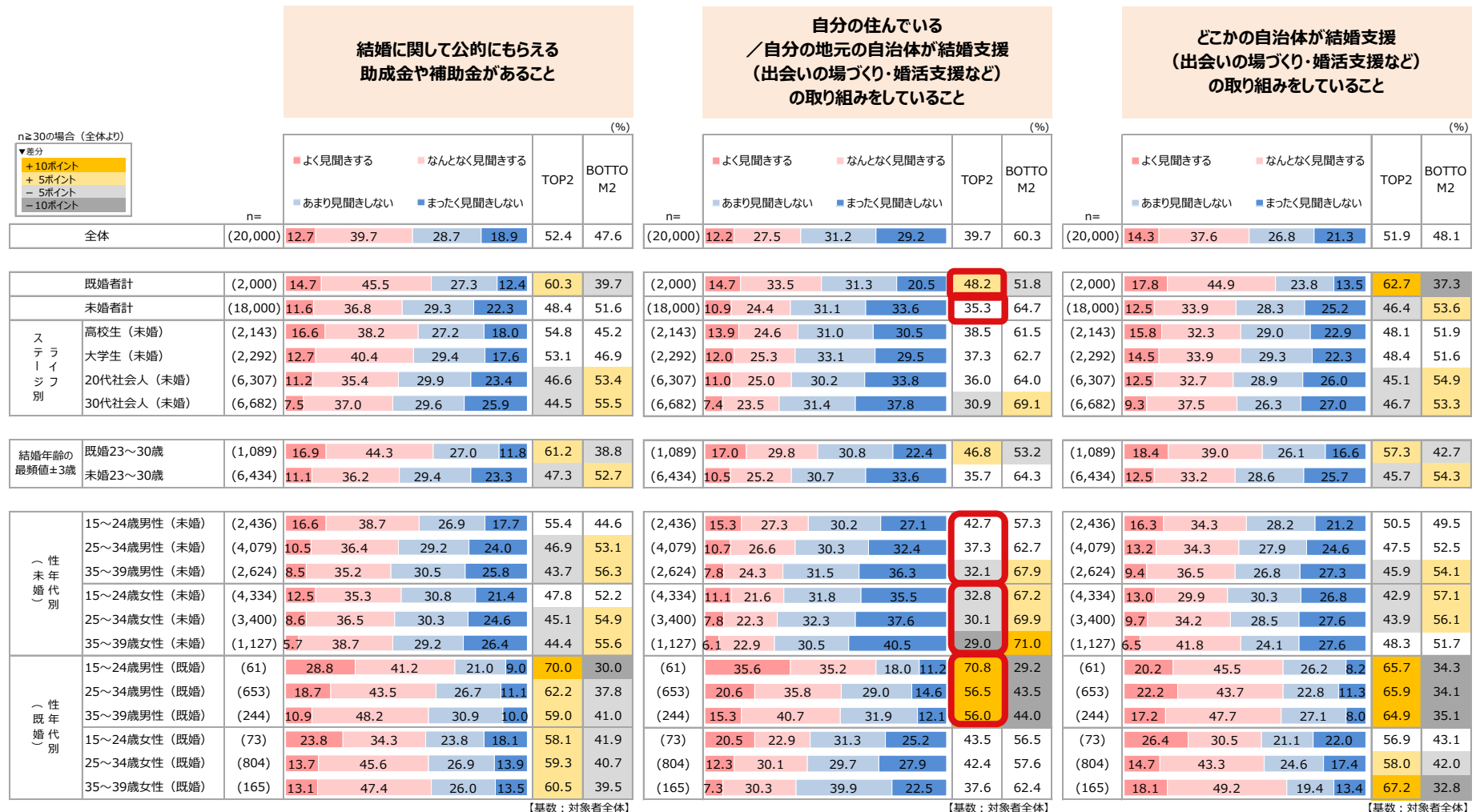
※未婚者計を基準に降順ソート

【基数：未婚者】

2. 自治体の結婚支援に関する取り組みへの認知度は、未婚者では約4割、既婚者では約5割であった。

- 自分の住んでいる/自分の地元の自治体の結婚支援の取り組みへの認知率は未婚者では35.3%、既婚者は48.2%となっている。(Q58)
- 既婚の男性においては6～7割に認知されている一方、未婚の男性においては3～4割、未婚の女性においては3割程度に留まる。(Q58)

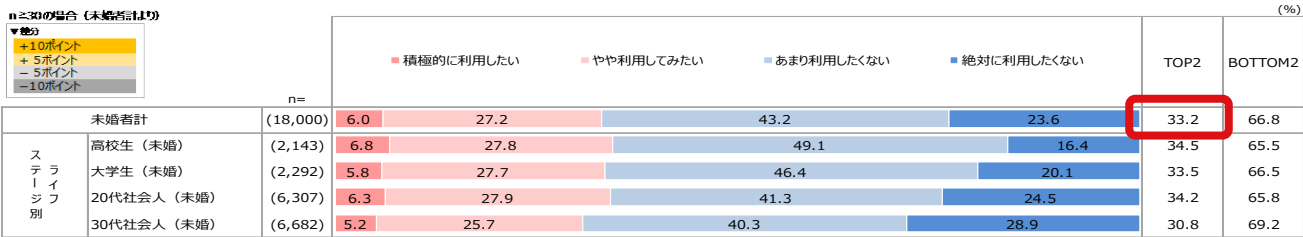
Q58.次にあげたような「結婚」に関連する情報を見聞きしたことがありますか。それぞれの項目について、あてはまるものをお答えください。(各1つずつ)



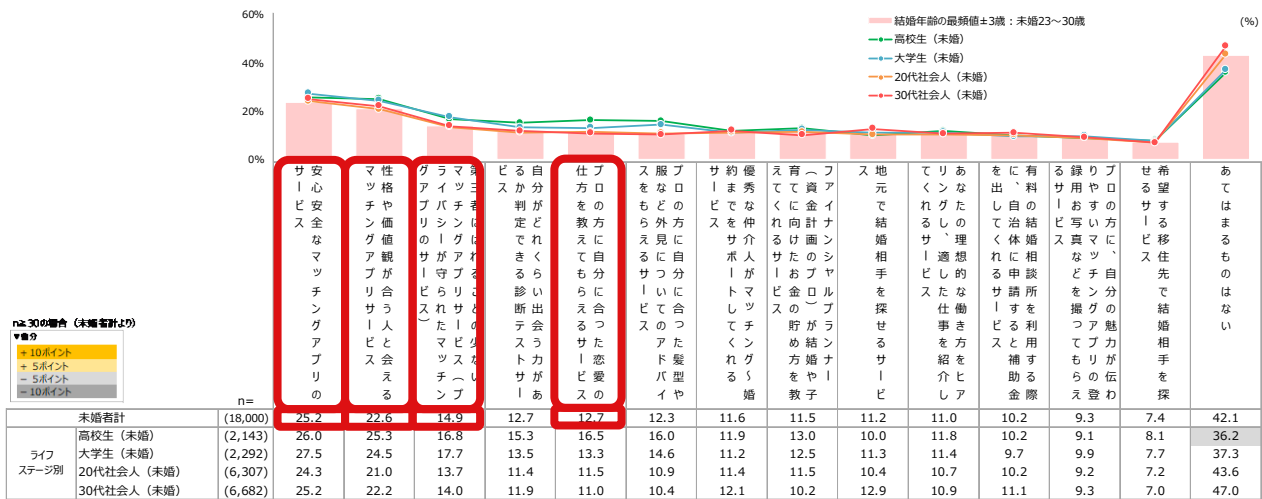
3. 都道府県の結婚支援への利用意向は約3割で、具体的に利用したいサービスとしては「安心安全なマッチングアプリ」などが挙げられる。

- 自分が住んでいる都道府県の結婚支援への利用意向は未婚者の33.2%となっている。(Q63)
- 国や都道府県の結婚支援として利用したいサービスとしては、「安心安全なマッチングアプリ(25.2%)」が最も高く、「性格や価値観が合う人と会えるマッチングアプリサービス(22.6%)」、「第三者にばれることの少ないマッチングアプリサービス(14.9%)」と、マッチングアプリサービスが続く。また、直接的な結婚支援だけではなく、「プロの方に自分に合った恋愛の仕方を教えてもらえるサービス(12.7%)」「プロの方に自分に合った髪型や服など外見についてのアドバイスをもらえるサービス(12.3%)」など恋愛や結婚につながる幅広い支援が期待されている。(Q66)

Q63.あなたが住まいの都道府県で、結婚支援（出会いの場づくり・婚活支援など）の取り組みをすることについてどのように思いますか。
あなたのお気持ちに近いものをひとつだけお答えください。



Q66.国やあなたが住まいの都道府県で婚活支援が行われる場合、どういった支援があると利用したいですか。
次にあげた中で、国やあなたが住まいの都道府県が行っていた場合、利用したいサービスをお答えください。（いくつでも）

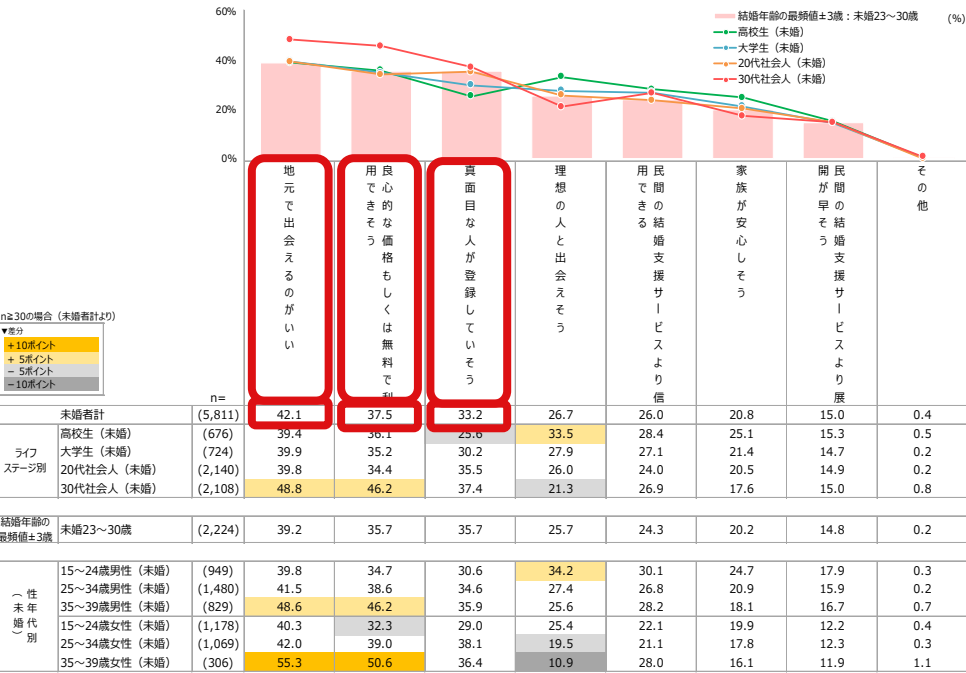


4. 未婚者のうち自治体の結婚支援を利用したいと思う理由は「地元で会えるのがいい」が約4割で最も高く、次いで、「良心的な価格で利用できそう」「真面目な人が登録していそう」が挙げられる。

- 自分が住んでいる都道府県での結婚支援を利用したい理由は、「地元で会えるのがいい(42.1%)」が最も高く、次いで「良心的な価格もしくは無料で利用できそう(37.5%)」「真面目な人が登録していそう(33.2%)」が挙げられる。(Q64)
- 自分が住んでいる都道府県での結婚支援を利用したくない理由は、「自分向けだと感じない(50.3%)」が最も高く、次いで「理想とする相手は登録していなさそう(24.7%)」「登録人数が少なそう(23.2%)」が挙げられる。(Q65)

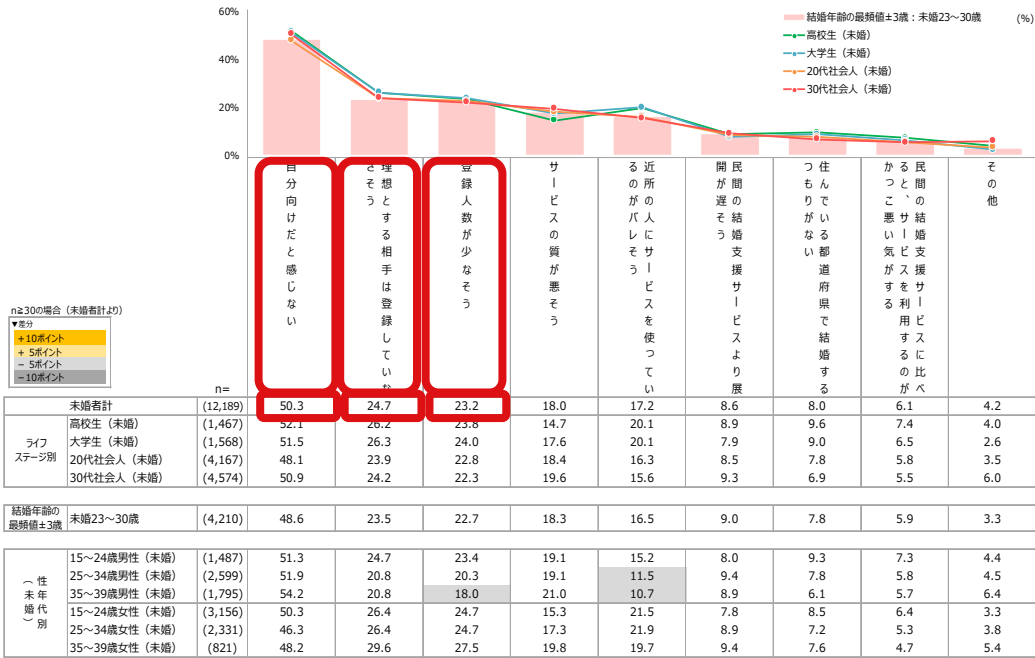
Q64.あなたが住まいの都道府県での、結婚支援（出会いの場づくり・婚活支援など）の取り組みに対して、利用したいとお答えになった理由としてあてはまるものをお答えください。（いくつでも）

Q65.あなたが住まいの都道府県での、結婚支援（出会いの場づくり・婚活支援など）の取り組みに対して、利用したくないとお答えになった理由としてあてはまるものをお答えください。（いくつでも）



※未婚者計を基準に階層ソート

【基数：未婚者＆住まいの都道府県での結婚支援（出会いの場づくり・婚活支援など）の取り組み「利用意向」者】



※未婚者計を基準に階層ソート

【基数：未婚者＆住まいの都道府県での結婚支援（出会いの場づくり・婚活支援など）の取り組み「非利用意向」者】

Appendix

合計：20,000ss（未婚者18,000ss/既婚者2,000ss）

エリア	性別	未既婚	年齢	サンプル数
北海道	男性	未婚	15歳～19歳	35
			20代	137
			30代	187
	女性	未婚	15歳～19歳	98
			20代	146
			30代	88
東北	男性	未婚	15歳～19歳	64
			20代	242
			30代	293
	女性	未婚	15歳～19歳	194
			20代	225
			30代	140
関東	男性	未婚	15歳～19歳	319
			20代	1394
			30代	1666
	女性	未婚	15歳～19歳	880
			20代	1557
			30代	741
北陸	男性	未婚	15歳～19歳	40
			20代	160
			30代	184
	女性	未婚	15歳～19歳	101
			20代	143
			30代	76
中部	男性	未婚	15歳～19歳	170
			20代	469
			30代	754
	女性	未婚	15歳～19歳	364
			20代	541
			30代	254
近畿	男性	未婚	15歳～19歳	192
			20代	603
			30代	696
	女性	未婚	15歳～19歳	432
			20代	687
			30代	335

エリア	性別	未既婚	年齢	サンプル数
中国	男性	未婚	15歳～19歳	78
			20代	212
			30代	212
	女性	未婚	15歳～19歳	156
			20代	211
			30代	113
四国	男性	未婚	15歳～19歳	23
			20代	96
			30代	101
	女性	未婚	15歳～19歳	75
			20代	95
			30代	76
九州・沖縄	男性	未婚	15歳～19歳	111
			20代	279
			30代	422
	女性	未婚	15歳～19歳	314
			20代	439
			30代	380
東京・愛知・大阪	男性	既婚	15～29歳	208
東京・愛知・大阪	女性	既婚	15～29歳	292
東京・愛知・大阪	男性	既婚	30～39歳	250
東京・愛知・大阪	女性	既婚	30～39歳	250
東京・愛知・大阪以外	男性	既婚	15～29歳	250
東京・愛知・大阪以外	女性	既婚	15～29歳	250
東京・愛知・大阪以外	男性	既婚	30～39歳	250
東京・愛知・大阪以外	女性	既婚	30～39歳	250

※全体値が15-39歳男女を代表するよう集計に際し、未既婚の割合を補正するためにウェイトバック集計を行った。

本報告書の閲読にあたっての留意点（1/2）

1) スクリーニングのサンプル数について

調査はスクリーニングと本調査を実施している。本調査の対象者は、スクリーニング質問において「答えたくない」などの未回答者を除いている。このため、グループ別分析のボリュームについては、日本全国における割合を推計するために、スクリーニング調査の結果（N=10,000）を掲載している。

2) 本報告書の構成と各パートにおける分析視点について

○本報告書の構成

基本分析

：未既婚、ライフステージ別、結婚最頻値（多発期）±3歳（23～30歳）、未既婚×性別×年代など、デモグラフィック特性や結婚意思有無、交際相手の有無など結婚に対して影響を持つと考えられる視点から分析を行った。

未既婚有意差分析

：本調査で聴取した調査項目一つ一つの回答について、既婚者と未婚者それぞれに対して関連性の強い（カイ二乗検定による）項目をランキングした。

グループ別分析

：未既婚、交際相手の有無、結婚意思有無、結婚相手を探すための行動有無などの回答パターンにより対象者をグループ化し、分析を行った。

○分析視点

ライフステージ別

：高校生、大学生、20代社会人、30代社会人（いずれも未婚）

結婚年齢の最頻値±3歳

：結婚最頻値（多発期）男性27歳、同女性26歳をベースにした±3歳（23～30歳）の未既婚者

クロス分析の視点

：交際相手の有無別（SQ5）、結婚意思有無別（SQ3）、出会い有無別（Q43）、婚活の行動有無別（SQ6）

交際相手の有無別（SQ5で1-3交際相手がいる／4交際相手がいない※5答えたくないは除外）

結婚意思有無別（SQ3で1,2結婚はしたい計／3,4結婚はしたくない計※5わからないは除外）

出会い有無別（Q43(1)で「1そもそも出会いの場所・機会がないこと」を選択なしは「出会いあり」／選択ありは「出会いなし」

婚活の行動有無別（SQ6で1,2行動している計／3,4行動していない計 ※SQ6の対象者【「交際相手がいない」＆「結婚はしたい計／わからない」】以外は除外）

その他クロス分析の視点についてはグラフ内に詳細記載

※結婚年齢の最頻値＝厚生労働省 令和5年度「人口動態統計」から算出

※基本分析、グループ別分析における分析視点の一つである有職者にはパート・アルバイトを含む。

3) 報告書の見方について（1/2）

基本分析では、全体を基準として右記のように「+5ポイント」、「+10ポイント」のセルにオレンジ系、逆に「-5ポイント」「-10ポイント」のセルにグレー系で色付けをしている。

（右図①）

30ss未満では統計的な信頼性を担保できないため、参考値扱いとして「*」と表記している。

（右図②）

なお、本報告書全体に渡り、小数点第2位を四捨五入し、小数点1位までを表記している。

①

全体	(5,321)	44.5	37.1
既婚者計	(510)	38.8	43.4
未婚者計	(4,811)	46.9	34.4
ライフ ステージ別			
高校生（未婚）	(1,030)	43.0	31.9
大学生（未婚）	(965)	54.0	32.2
20代社会人（未婚）	(1,517)	49.4	35.9
30代社会人（未婚）	(1,101)	43.3	39.6

結婚年齢の 最頻値±3歳	既婚23～30歳	(285)	41.8	35.8
	未婚23～30歳	(1,493)	49.2	36.0

（未婚年代別）	15～24歳男性（未婚）	(911)	44.9	36.5
	25～34歳男性（未婚）	(844)	41.6	41.5
	35～39歳男性（未婚）	(449)	37.8	36.7
	15～24歳女性（未婚）	(1,785)	50.6	28.0
	25～34歳女性（未婚）	(692)	53.2	34.7
（既婚年代別）	35～39歳女性（未婚）	(130)	41.8	42.4
	15～24歳男性（既婚）	(*22)	28.5	45.5
	25～34歳男性（既婚）	(178)	28.0	39.1
	35～39歳男性（既婚）	(85)	44.2	49.7
	15～24歳女性（既婚）	(*15)	63.3	44.9
	25～34歳女性（既婚）	(175)	47.2	44.1
	35～39歳女性（既婚）	(35)	30.9	38.4

※全体を基準に降順ソート

②

3）報告書の見方について（2/2）

報告書内に記載されている「TOP2」「BOTTOM2」の表記は、評価尺度（「あてはまる（そう思う）」～「あてはまらない（そう思わない）」）等を使用した質問で選択肢の上位2つと下位2つの合計値を示す。この際、評価尺度以外の選択肢（例えば「わからない・答えたくない」など）は除いている。

※本レポートにおける各設問の回答割合(%)は、それぞれの値の小数第二位以下を四捨五入し、小数第一位までを表記している。
一方、各選択肢の合計値(TOP2、BOTTOM2など)は、対象となる回答割合を足し上げた合計値の小数第二位以下を四捨五入し、小数第一位までを表記している。

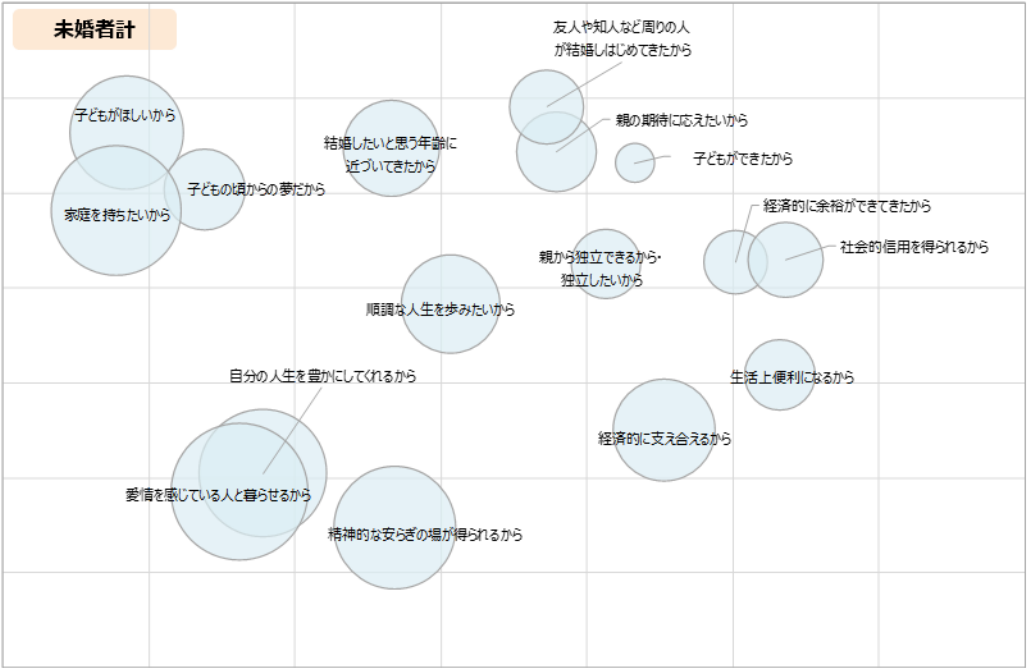
4）バブルチャートについて

複数選択肢の質問の一部を対象に、対象者が選んだ選択肢間の相関関係を基に傾向や特徴を視覚的に把握できるようにした。バブルチャートの中で多くの人が同時に選択した選択肢同士は近くに配置され、バブルの大きさは回答者の割合を表す。各選択肢の座標は、主成分分析*における主成分負荷量を用いて布置されたものであり各軸の解釈については、分析者の観点に基づいて行われることが一般的であるため本調査においても分析者に委ねることとする。

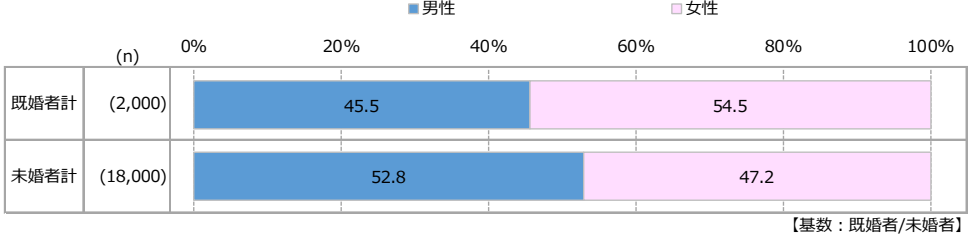
*主成分分析とは多くの変数がある場合、これらを少数の変数で表す目的で主に用いられる。
主成分分析を使うことにより、データの情報量をできるだけ減らさずに変数の数を集約するとともに、多くの変数を持つデータの可視化(グラフ化)が可能となる。

主成分の選択は結果の解釈のしやすさを基に選択しているが、対立軸として表現できるため横軸を第2主成分・縦軸を第3主成分としたものが多い。

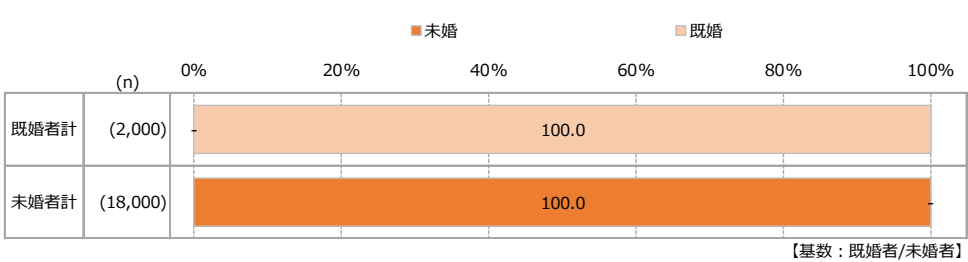
右の図は、「結婚したい理由」の回答結果であるが、第2主成分と第3主成分の選択肢の主成分負荷量をそれぞれ横軸、縦軸にとり、各理由の主成分負荷量に基づき選択肢を布置している。左上に「子どもがほしいから」「家庭を持ちたいから」「子どもの頃の夢だから」が近くに布置されており、これらの理由は重複して選択される傾向にあることが伺える。



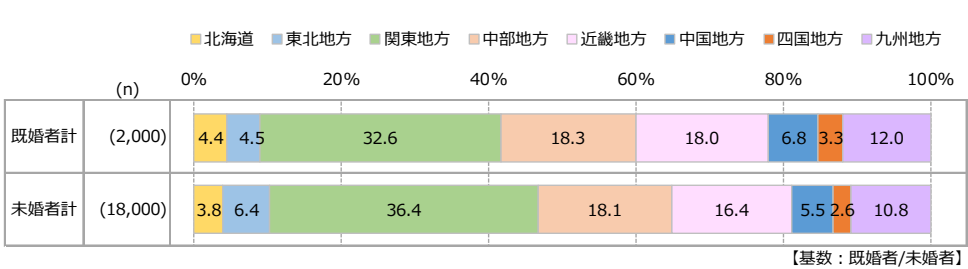
<性別>



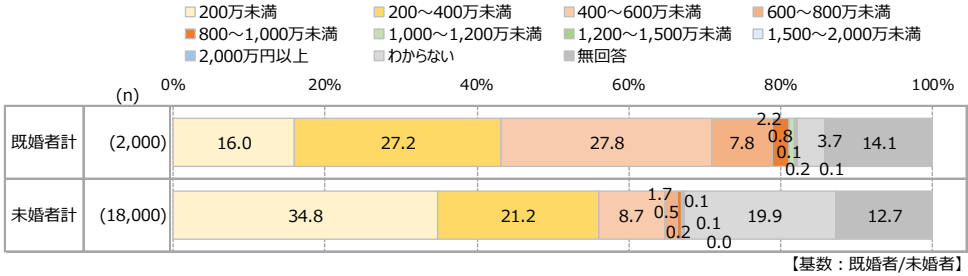
<未既婚>



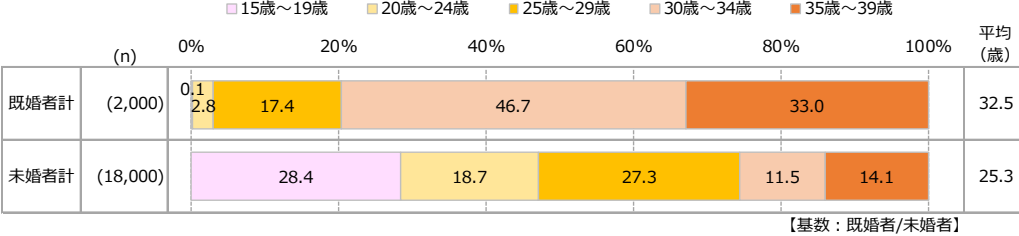
<エリア>



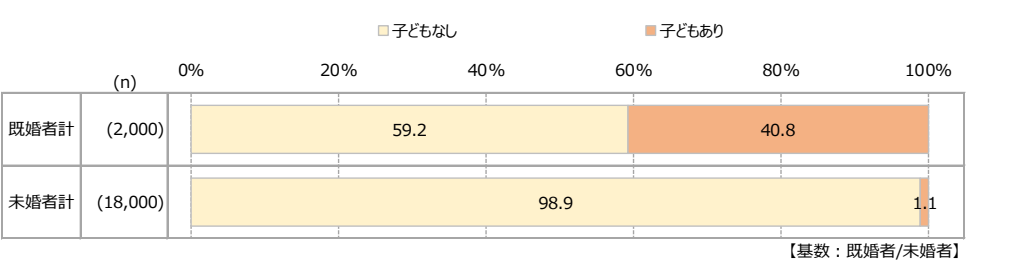
<個人年収>



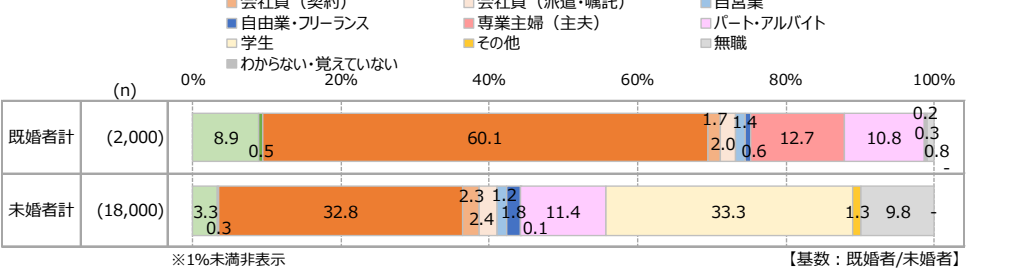
<年齢>



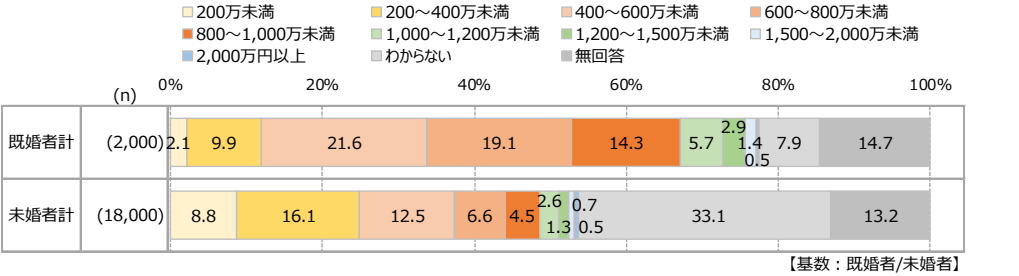
<子ども有無>



<職業>



<世帯年収>



※表中の「-」は回答者がいなかったことを表す